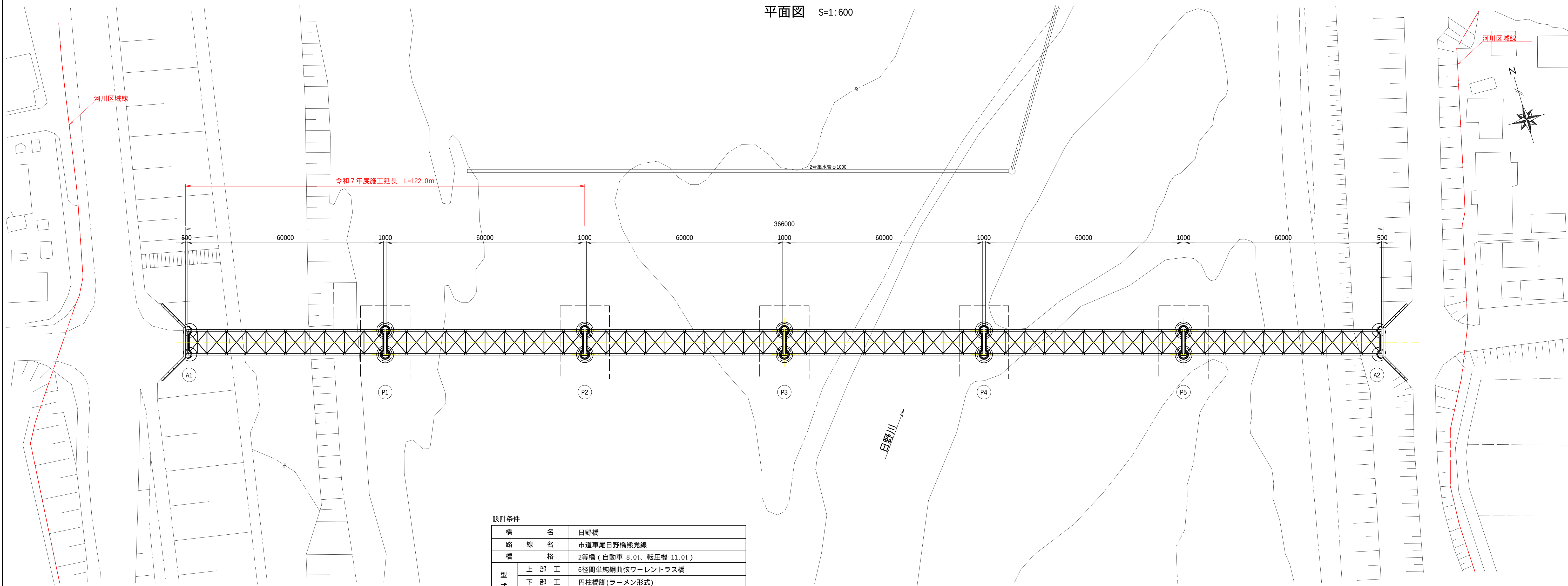
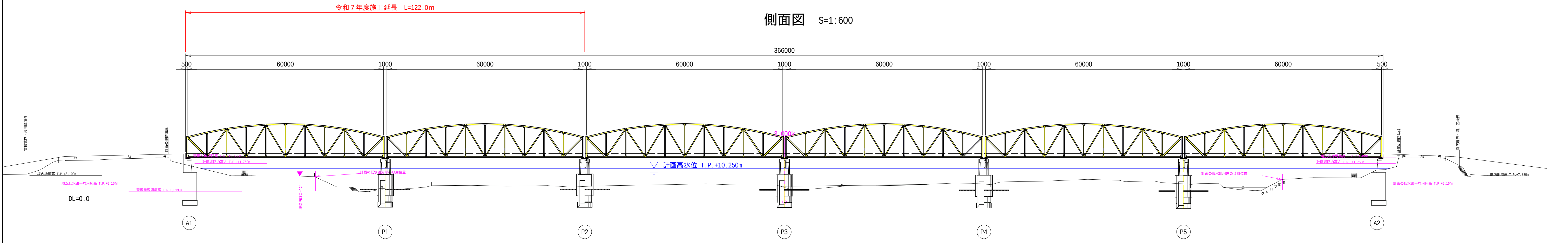


橋梁一般図(その1)



設計条件		
橋名	日野橋	
路線名	市道車尾日野橋熊党線	
橋格	2等橋(自動車 8.0t、転圧機 11.0t)	
型式	上部工	6径間単純鋼曲弦ワーレントラス橋
	下部工	円柱橋脚(ラーメン形式)
	基礎工	ケーソン基礎
橋長	366.0m	
支間長	6@60.0m	
幅員	0.25+6.25+0.25=6.75m	
斜角	90°00'00"	
平面線形	R=∞	
設計震度	KH=0.14(基準震度)	
竣工年	1929年(54年)	
適用方書	道路構造に関する細則案(1926年)	

- 注記
- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
 - 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。
施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
 - 河川断面の日野川の「直轄河川日野川水系日野川管理基横断面8」No.3.000kの断面を示す。

日野橋(車尾日野橋熊党線)	
図面番号	第 14 枚内 1 号
図面名称	市道車尾日野橋熊党線日野橋 橋りょう補修工事(その1) 橋梁一般図(その1)
縮尺	図示(A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

橋梁一般図(その2)

下部工断面図 S=1:100

上部工断面図 S=1:100

橋台

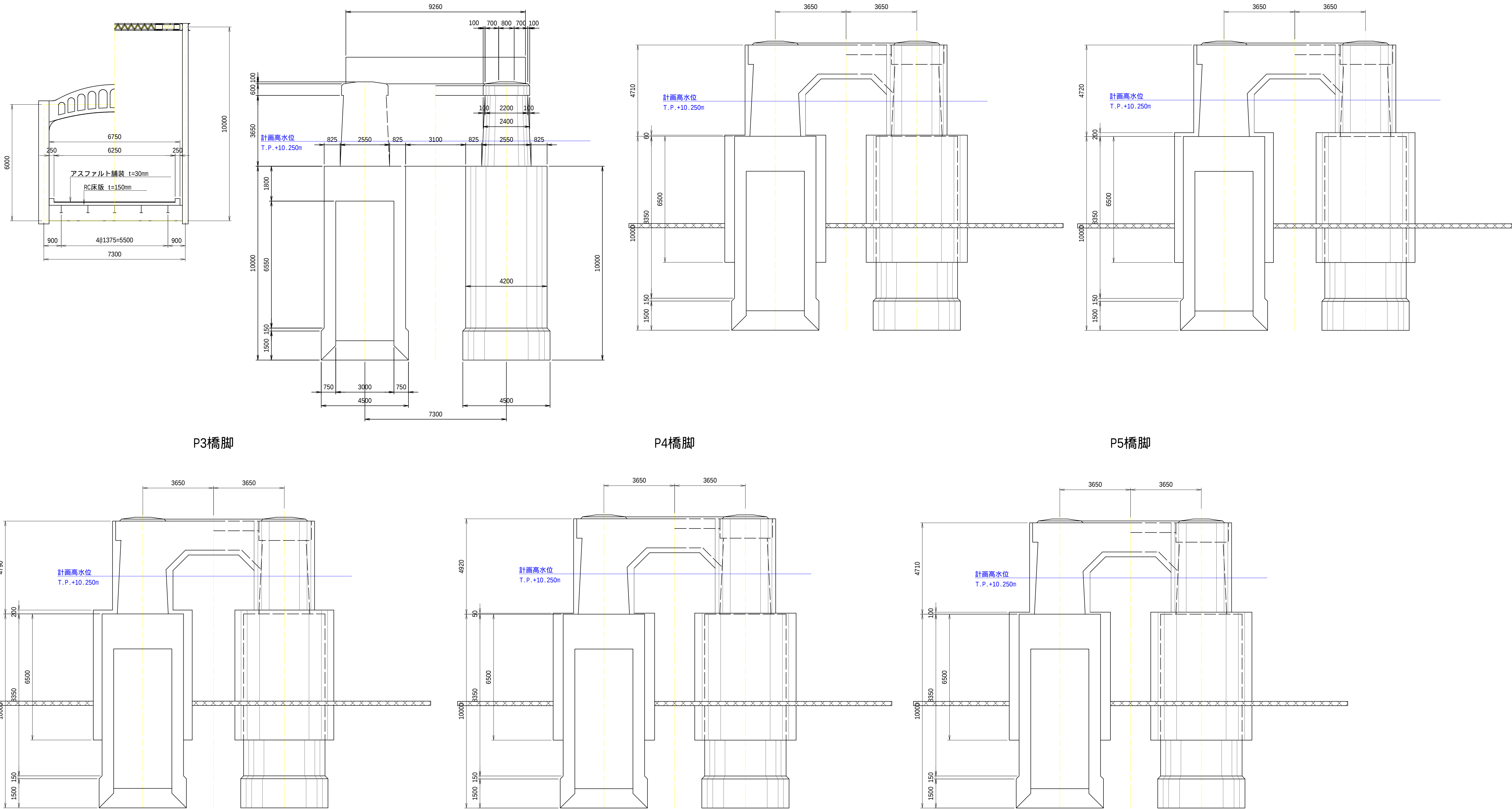
P1橋脚

P2橋脚

P3橋脚

P4橋脚

P5橋脚



注記

- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
- 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
- 河川断面は日野川の「直轄河川日野川水系日野川管理基横断面8」No.3.000kの断面を示す。

日野橋（車尾日野橋既設線）	
図面番号	第 14 枚内 2 号
図面名称	市道車尾日野橋既設線日野橋 橋りょう補修工事（その1） 橋梁一般図(その2)
縮 尺	図示（A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示）
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

補修一般図(その1)

第1径間（主構造）

S=1:125

至 車尾 ←

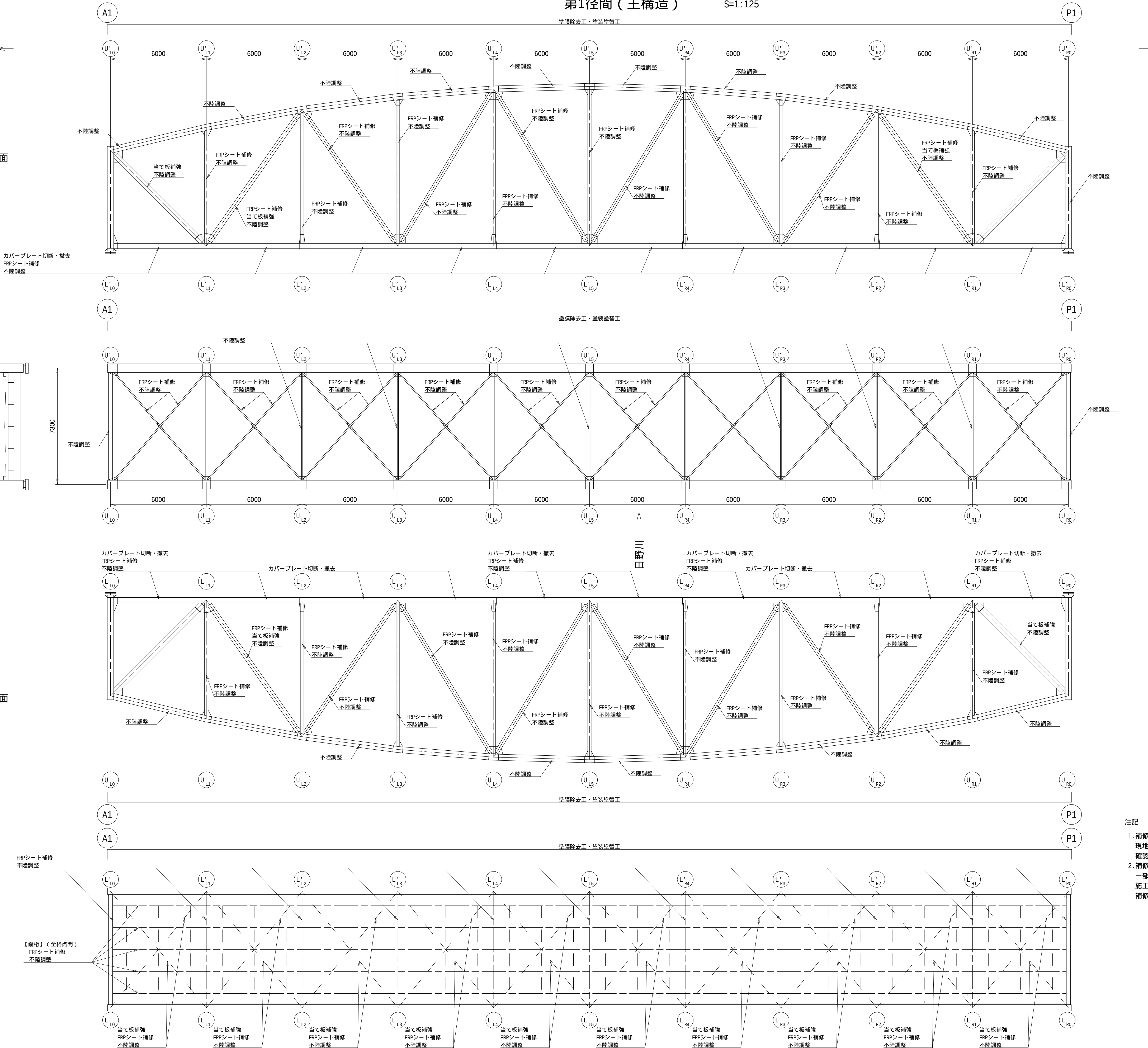
→ 至 熊党

下流側主構側面

主構上面

上流側主構側面

主構下面



塗装塗替工 A=2,547.1㎡

当て板補強 A=7.3㎡

FRPシート補修（区分A） A=9.3㎡

FRPシート補修（区分B） A=8.3㎡

FRPシート補修（区分C） A=22.4㎡

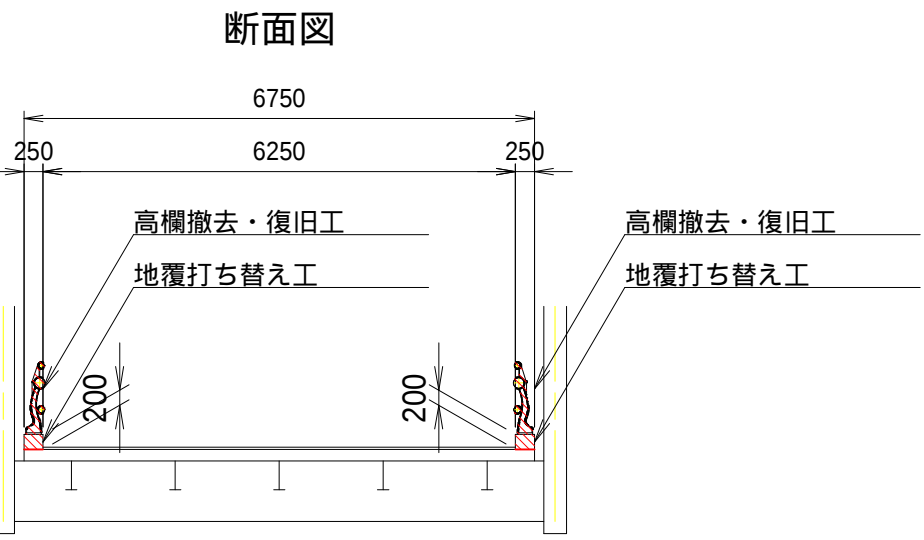
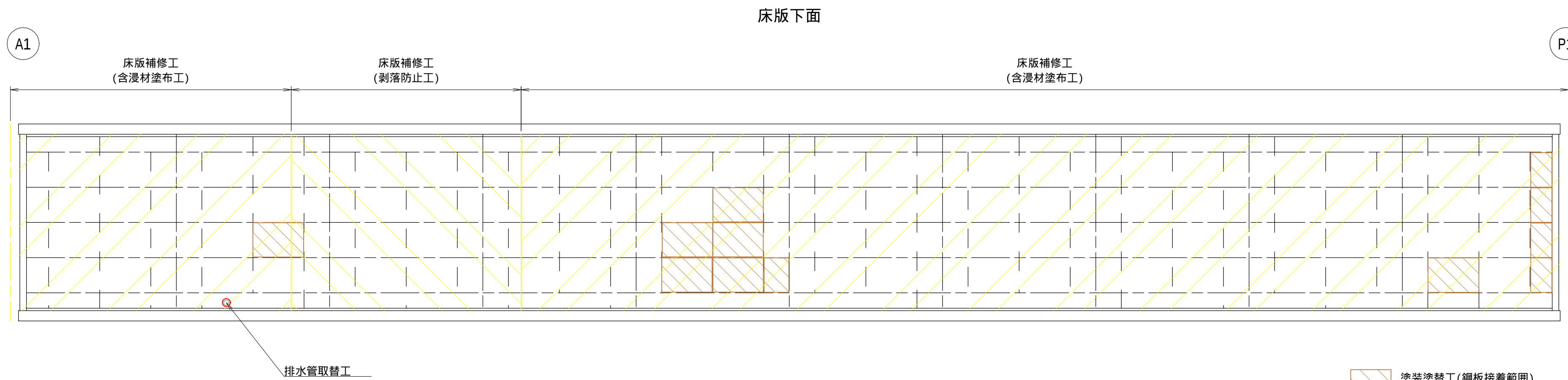
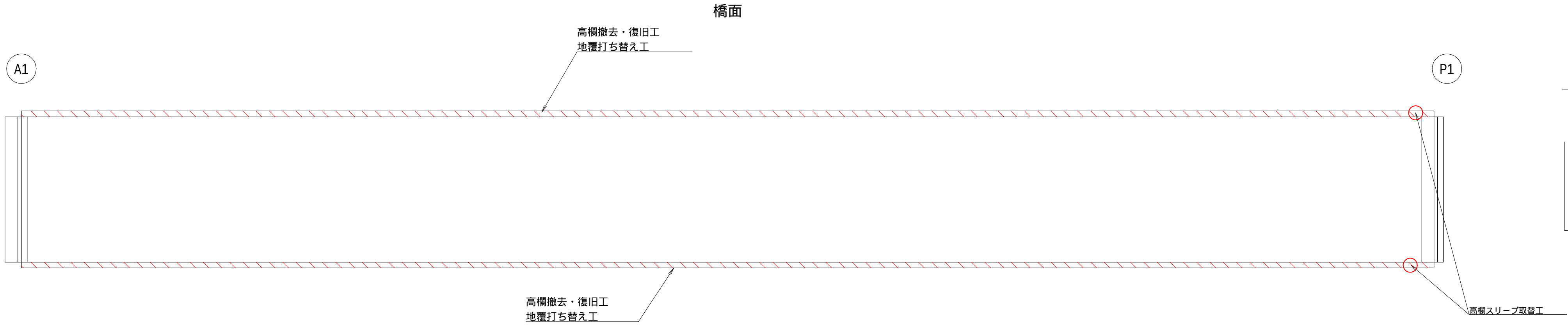
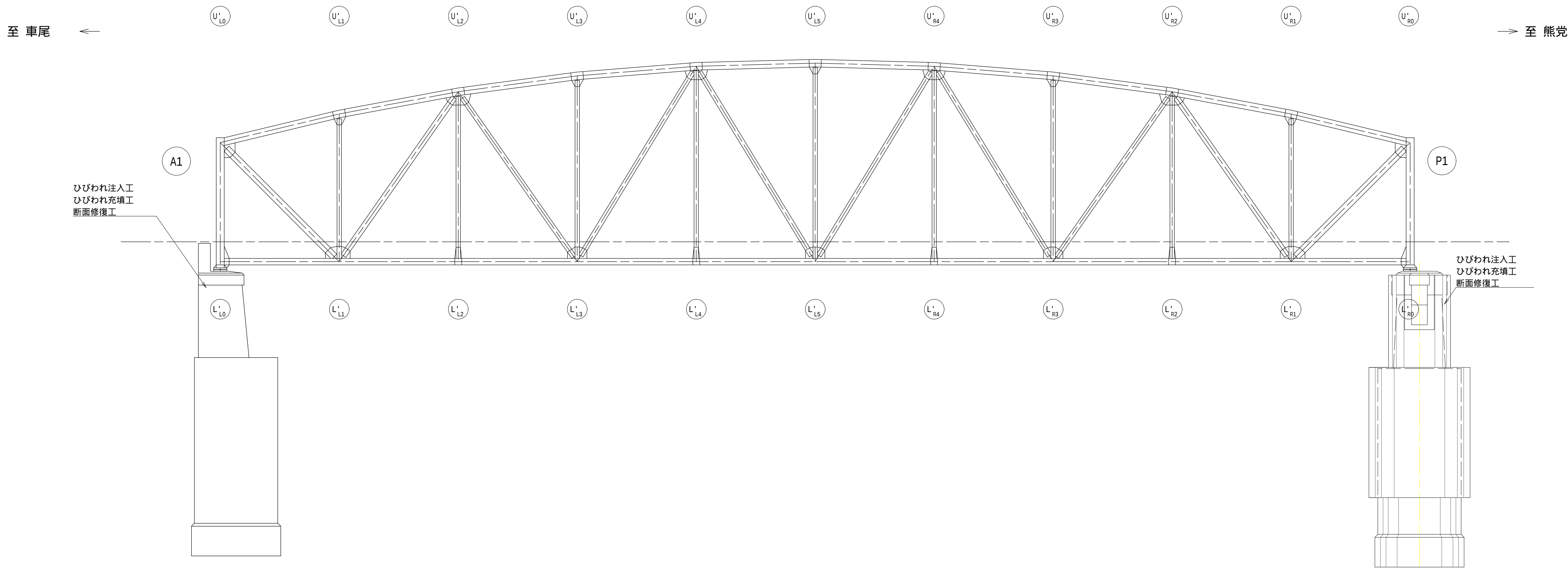
カバープレート切断・撤去工 L=240.0m

注記

- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
- 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。施工前に損傷状況・形状寸法調査を行い、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。

日野橋（車尾日野橋既完線）	
図面番号	第 14 枚内 3 号
図面名称	市道車尾日野橋既完線日野橋 橋りょう補修工事（その1） 補修一般図(その1)
修 尺	図示（A3版は表示幅尺の1/2に縮小表示）
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

補修一般図(その2)
第1径間（下部工・橋面・床版）



高欄撤去・復旧 L=122.0m
はく落防止工 A=60.1㎡
表面含浸材塗布工 A=325.5㎡
断面補修工
(上部工) A=4.35㎡
(下部工) A=4.63㎡
ひびわれ補修工
(注入工) L=20.0m
(充填工) L=10.3m

- 注記
- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。
現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
 - 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。
施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
 - 鋼板接着範囲は床版補修工の対象から除外すること。

- 塗装塗替工(鋼板接着範囲)
床版補修工(含浸材塗布工)
床版補修工(剥落防止工)

日野橋（車尾日野橋完成線）	
図面番号	第 14 校内 4 号
図面名称	市道車尾日野橋熊党線日野橋 橋りょう補修工事（その1） 補修一般図(その2)
縮 尺	図示（A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示）
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

補修一般図(その3)

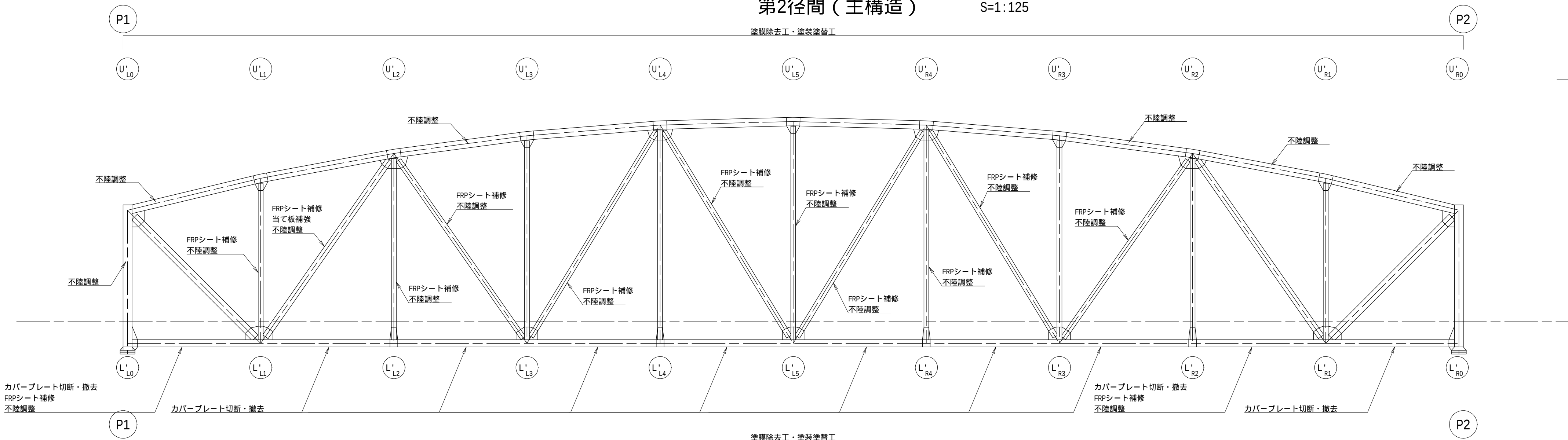
第2径間（主構造）

S=1:125

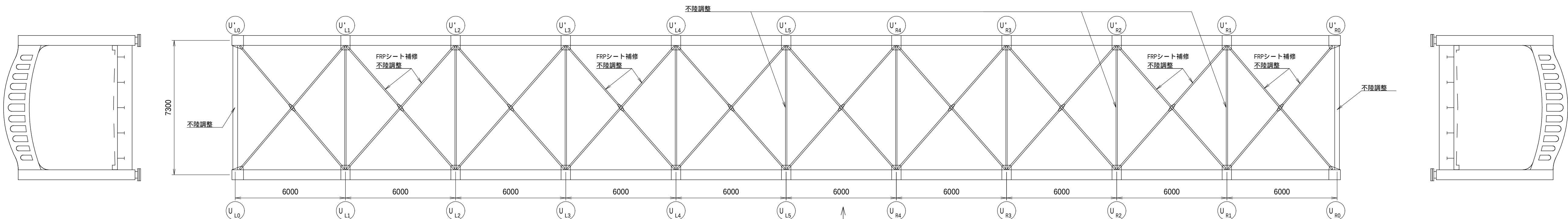
至 車尾 ←

→ 至 熊党

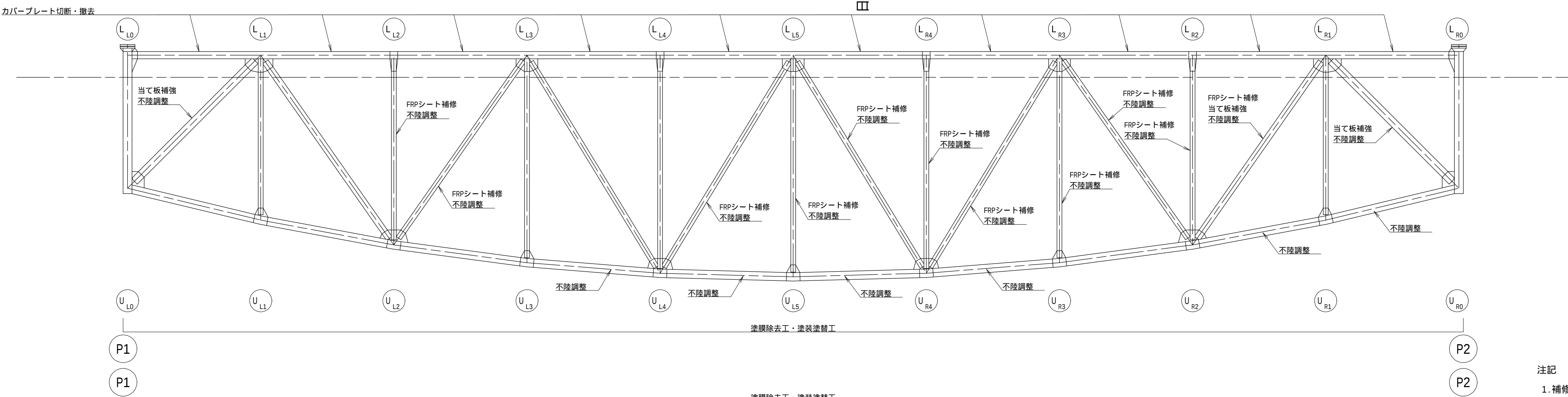
下流側主構側面



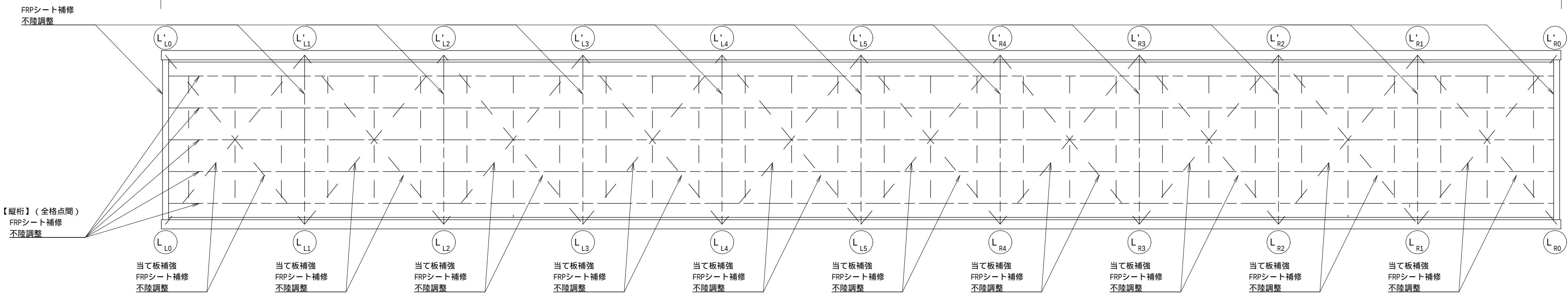
主構上面



上流側主構側面



主構下面

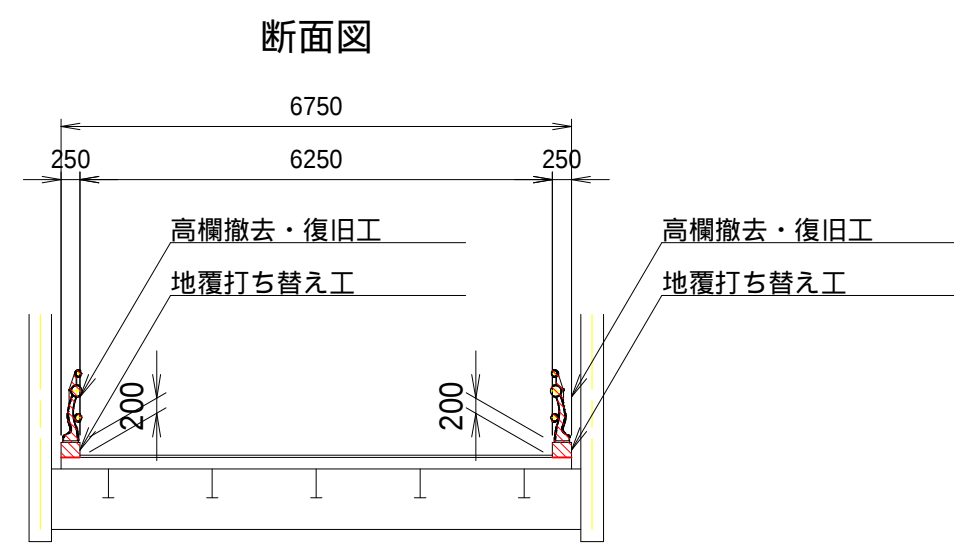
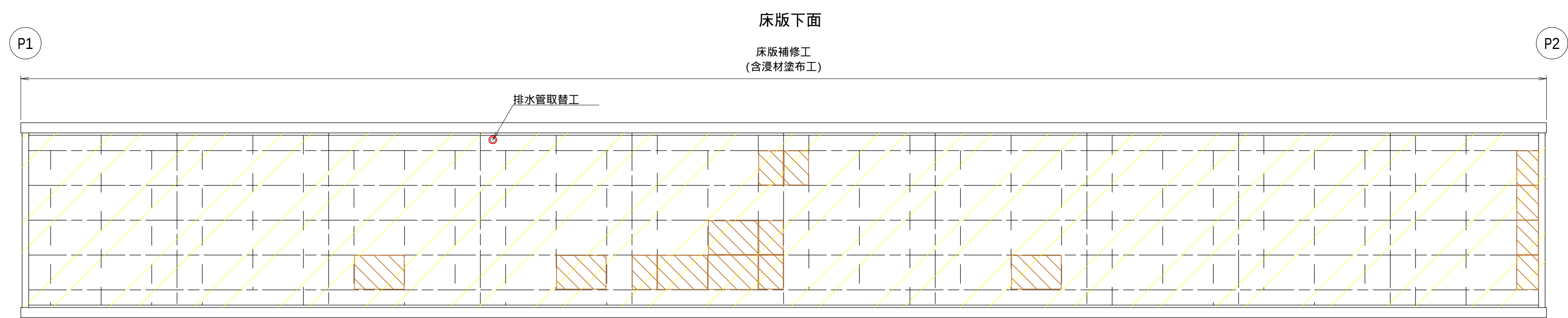
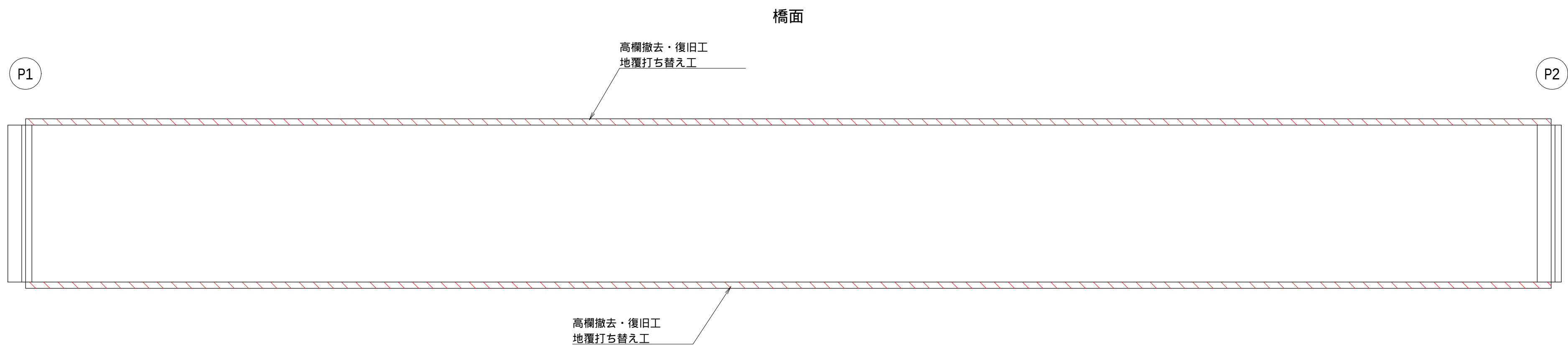
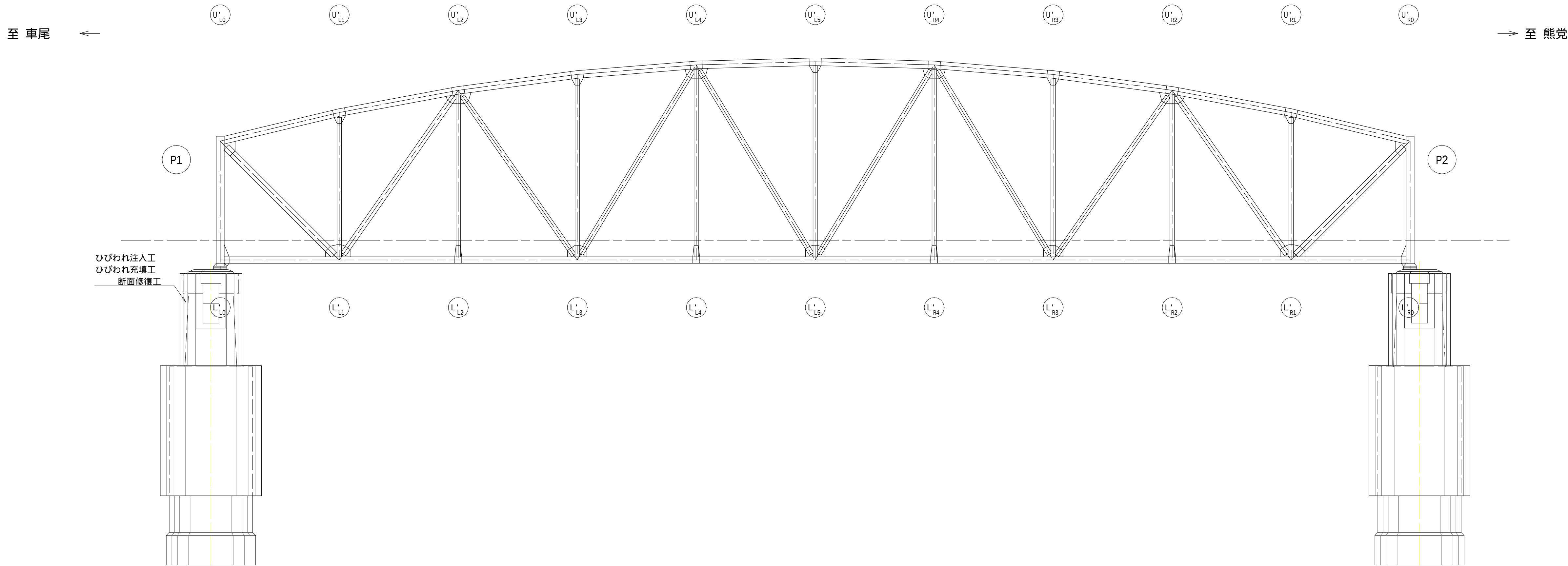


塗装塗替工 A=2549.8㎡
当て板補強工 A=7.2㎡
FRPシート補修（区分A） A=6.9㎡
FRPシート補修（区分B） A=6.4㎡
FRPシート補修（区分C） A=16.8㎡
カバープレート切断・撤去工 L=240.0m

- 注記
- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
 - 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。

日野橋（車尾日野橋熊党線）	
図面番号	第 14 枚内 5 号
図面名称	市道車尾日野橋熊党線日野橋 横りょう補修工事（その1） 補修一般図(その3)
修 尺	図示（A3版は表示幅尺の1/2に縮小表示）
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

補修一般図(その4)
第2径間（下部工・橋面・床版）



高欄撤去・復旧 L=122.0m
表面含浸材塗布工 A=382.8㎡

断面補修工
(上部工) A=4.35㎡
(下部工) A=0.075㎡
ひびわれ補修工
(注入工) L=48.0m
(充填工) L=13.4m

- 注記
- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
 - 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
 - 鋼板接着範囲は床版補修工の対象から除外すること。

日野橋（車尾日野橋既設線）	
図面番号	第 14 枚内 6 号
図面名称	市道車尾日野橋既設線日野橋 橋りょう補修工事（その1） 補修一般図(その4)
縮 尺	図示（A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示）
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

塗装塗替工(鋼板接着範囲)
床版補修工(含浸材塗布工)

補修要領図(その1)

補修方針

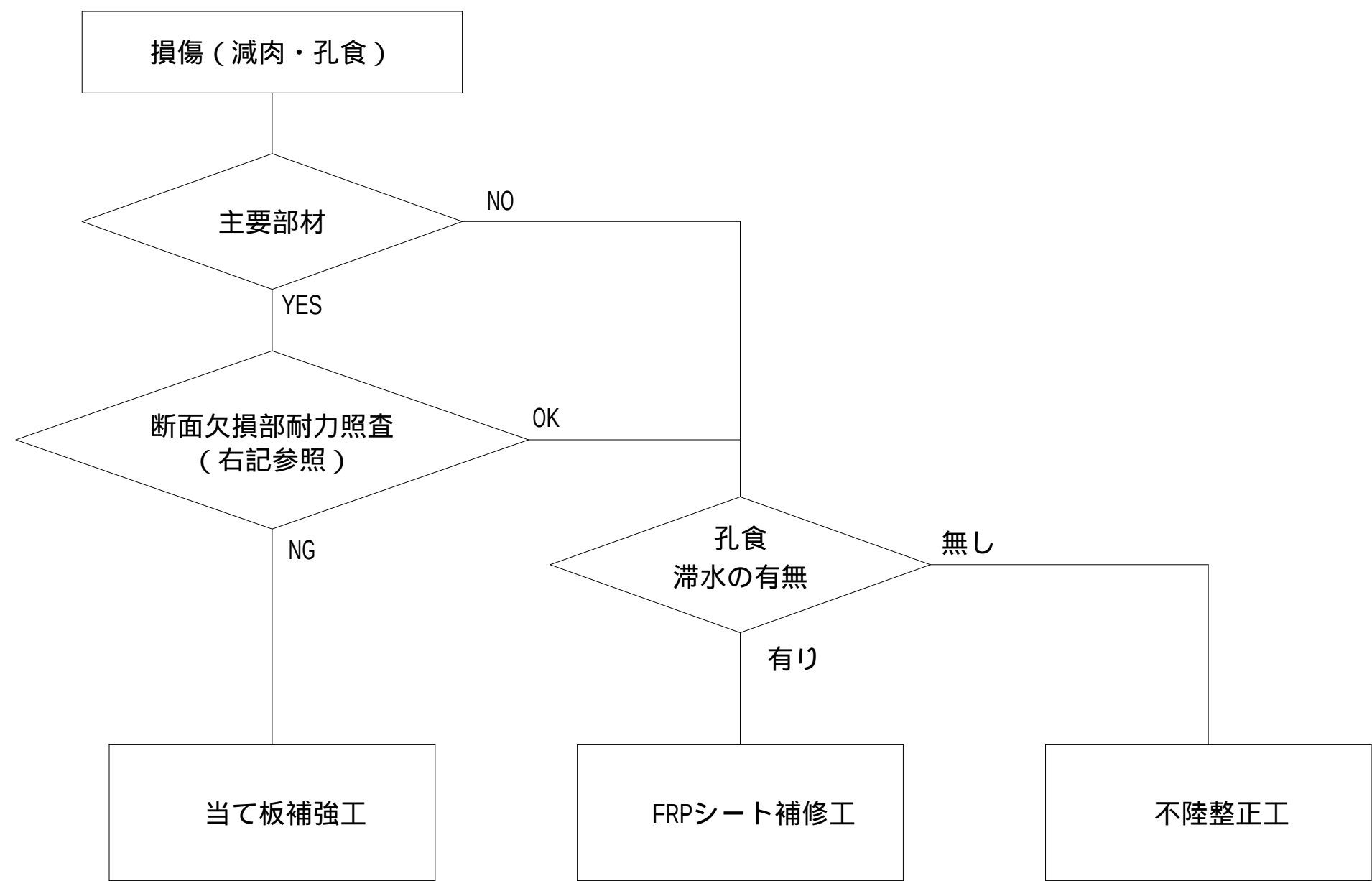
本日野橋補修工事においてはPCBの除去を主目的として、現状利用を踏まえた最小限の補修を行う方針とした。

補修設計実施にあたっては「令和3年度 市道車尾日野橋熊当線日野橋 橋りょう定期点検業務委託」及び詳細設計で実施した一部の詳細調査結果を基に補修部材を推定している。また、詳細調査は補修方針・構造形式の特性並びに橋梁規模より、橋梁全体に足場を設置する補修工事時に実施し、ここに記載された補修要領を基本として補修内容を精査したうえで、監督職員と協議の上、補修数量を確定させる必要がある。

なお、補修要領で示される補修内容は本補修方針に従ったものであり、工事で行う詳細調査結果等に応じて、方針や補修内容・工法等を制限するものではない。

補修工法選定フロー（鋼部材）

下記に主要部材における補修フローを示す。補修形状は詳細調査結果を基に再設定するとともに、副部材については防食機能の復旧・外観成形程度の補修を基本とするが、応力伝達の不良や部材落下等の恐れがある部材については適宜当て板等の構造部材補修を行うこと。



主要部材：上弦材、下弦材、斜材、垂直材、横桁、縦桁

二次部材：その他鋼部材

その他留意点

- ・排水装置より漏水が見られる場合には、漏水箇所を特定しコーキング等による止水を行うこと。
- ・ガセットPLの孔食が著しく美観を損なう場合にはFRPシート等で穴埋めを行うこと。
- ・ボルトの緩み・抜け落ちにも配慮し、必要に応じてボルトの取替等を行うこと。
- ・伸縮立ち上がり部においてバックアップ材の損傷等が確認された場合には、シール処理を行う等の対策を講じること。

断面欠損部耐力照査

断面欠損部耐力照査は、現況寸法実測により把握した損傷の範囲と状態から各部材・部位の

欠損断面積（ $B \times \Delta t$ ）を算出し、余裕断面積 A_m と比較をすることにより行う。

なお、余裕断面積 A_m とは、各部材・部位が許容できる断面欠損量のことである。

欠損断面積が余裕断面積を超過する場合は、部材・部位に期待する耐力を満足しないものとして、当て板補強工を実施する。

$B \times \Delta t > A_m$... 当て板補強工

$B \times \Delta t < A_m$... （一般部）不陸整正工、（孔食部 or 滞水部）FRPシート補修工

ここに、

B = 腐食幅

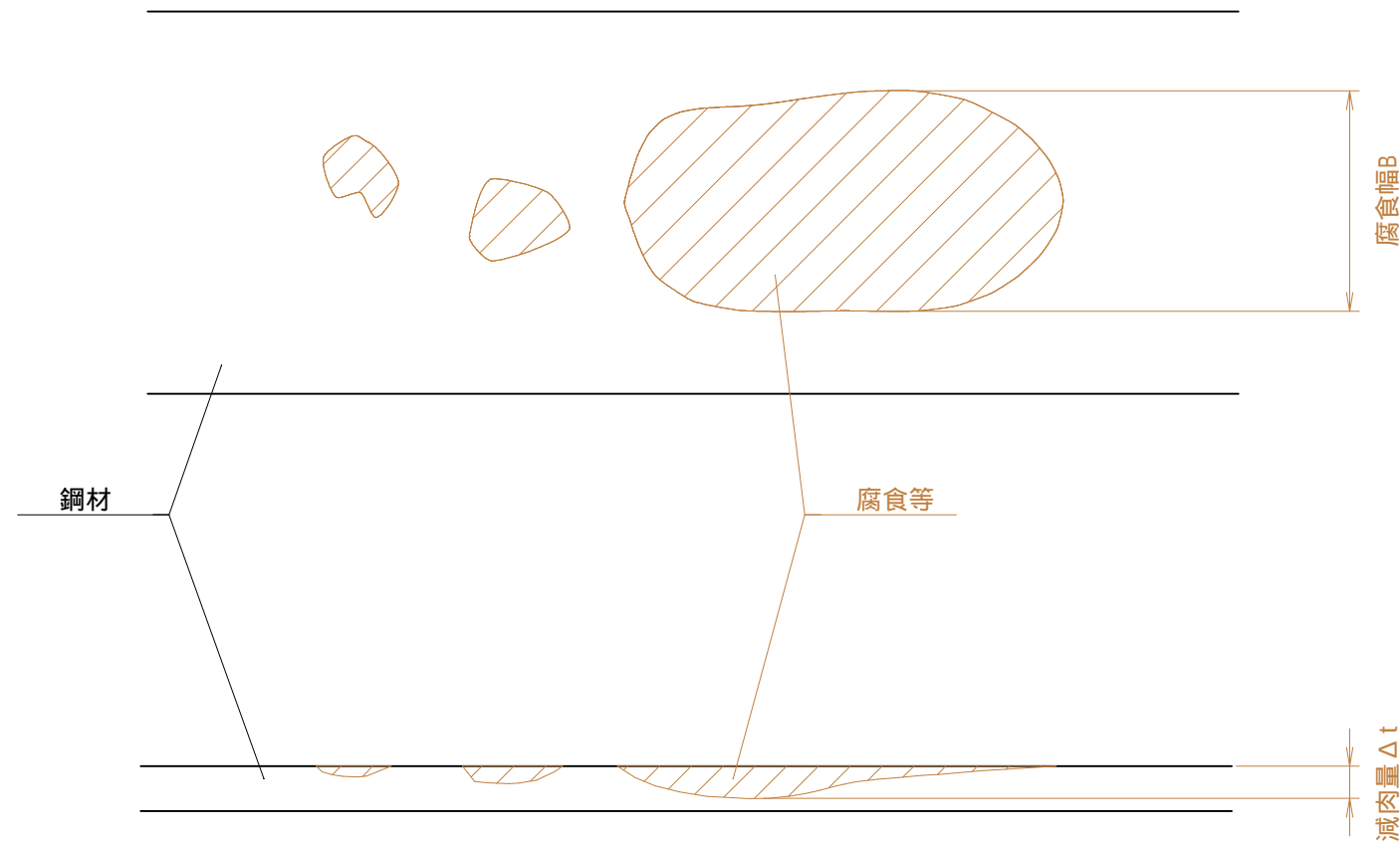
Δt = 減肉量

$B \times \Delta t$ = 欠損断面積

A_m = 余裕断面積

主要部材以外のその他鋼部材と付属物については、孔食の有無や滞水の生じやすい部材により補修内容を決定し、監督職員と協議を行うこと。

概念図



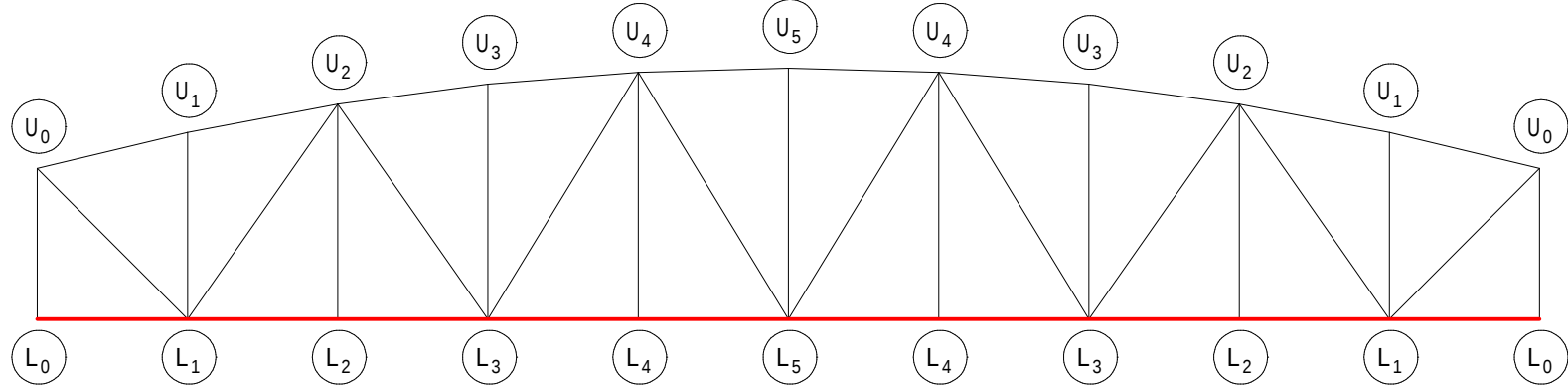
注記

- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
- 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。施工前に損傷状況・形状寸法調査を行い、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
- 設構及びガセットプレート等は、主要部材の対象外とし、二次部材と扱い、当て板補強工を行わないことを基本とする。なお、二次部材に著しい損傷が確認された場合には、監督職員と協議の上、補修内容を決定すること。
- 詳細調査においてリベット及び高力ボルトの脱落およびゆるみは見られない。補修工事においてリベット及び高力ボルトの損傷が見られる場合は監督職員と協議の上、リベット及び高力ボルトの取替を実施すること。

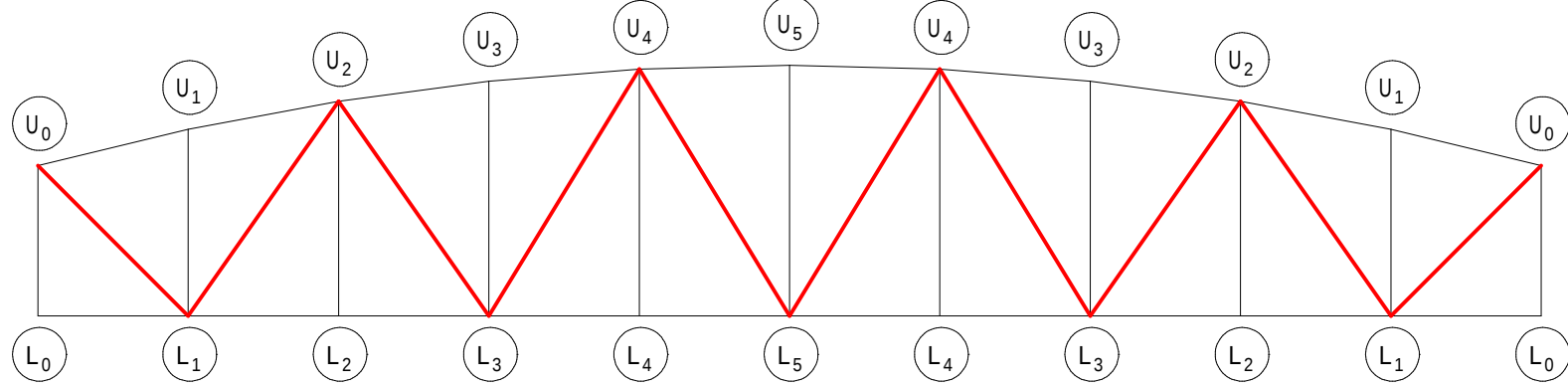
日野橋（車尾日野橋熊当線）	
図面番号	第 14 枚内 7 号
図面名称	市道車尾日野橋熊当線日野橋 橋りょう補修工事（その1） 補修要領図(その1)
縮 尺	図示（A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示）
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

補修要領図(その2)

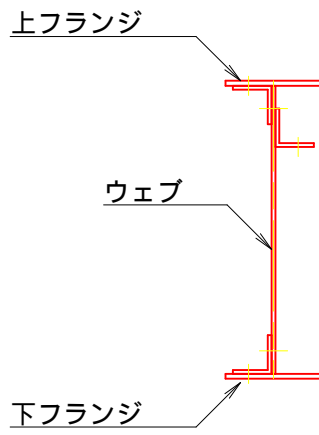
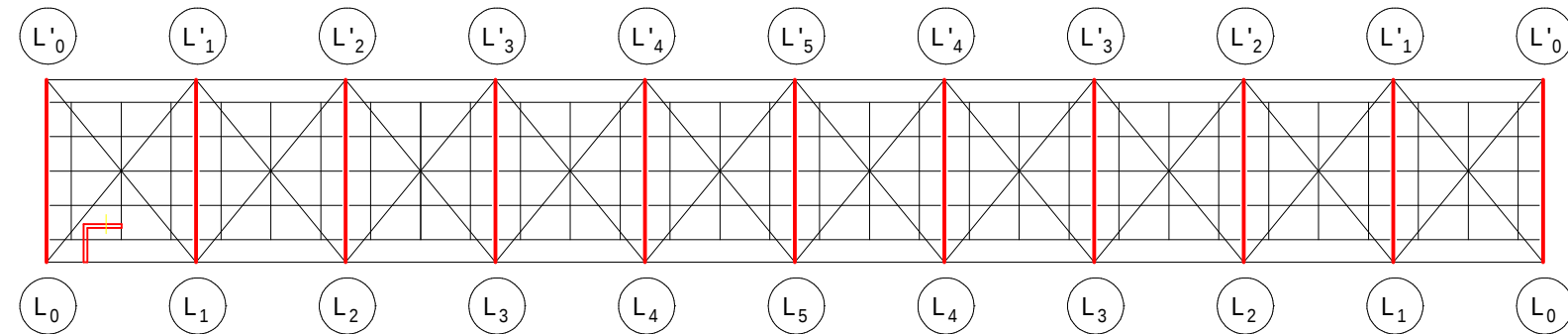
主要部材番号図



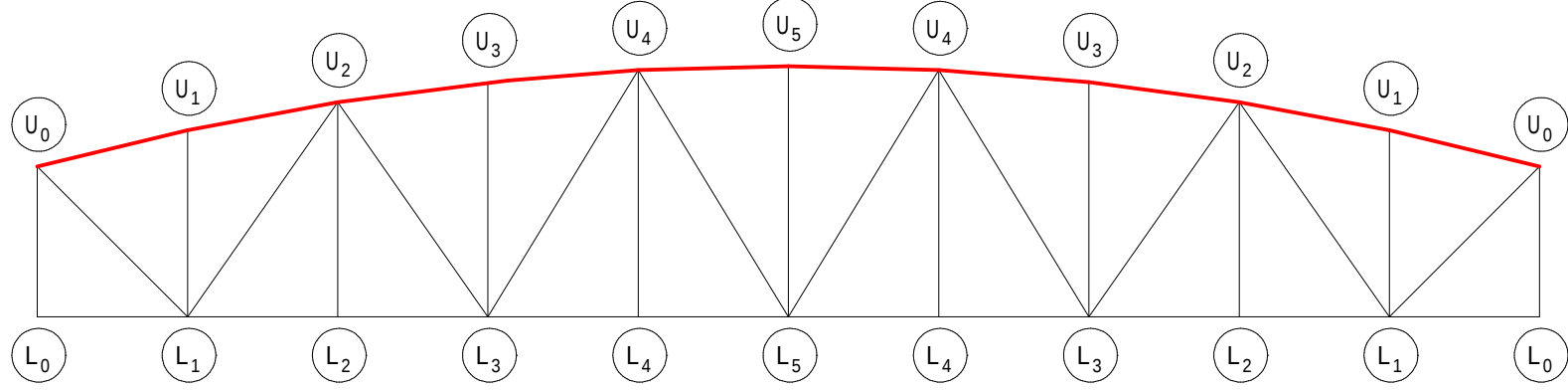
部材	部材番号	健全時 断面積 A(cm2)	余裕断面積 Am(cm2)
下弦材	L ₀ -L ₁	119.5	107.43
	L ₁ -L ₂	151.0	38.46
	L ₂ -L ₃	151.0	38.46
	L ₃ -L ₄	167.6	20.64
	L ₄ -L ₅	167.6	20.64



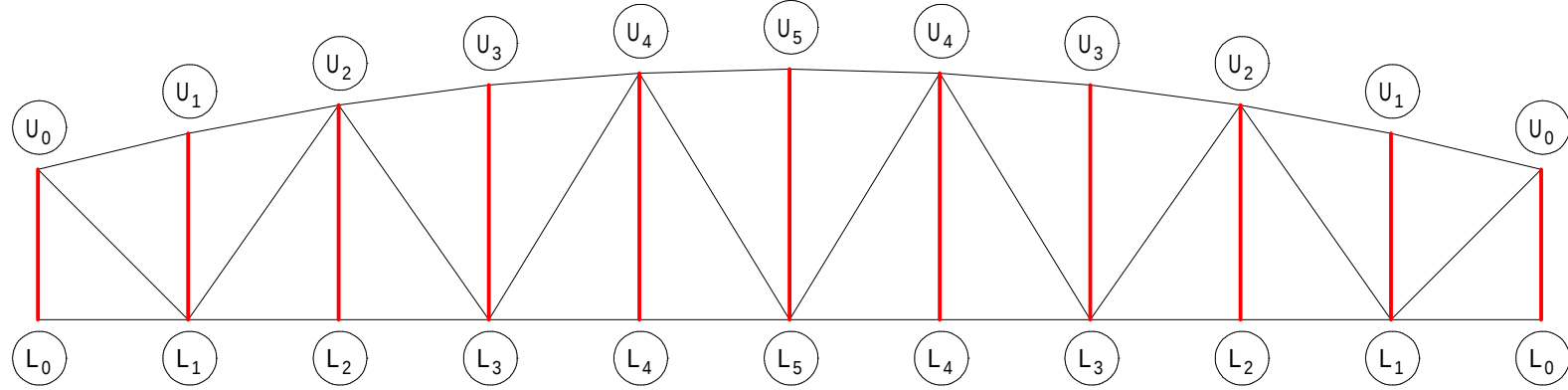
部材	部材番号	健全時 断面積 A(cm2)	余裕断面積 Am(cm2)
斜材	U ₀ -L ₁	104.1	1.02
	U ₂ -L ₁	127.8	24.12
	U ₂ -L ₃	80.6	41.27
	U ₄ -L ₃	116.1	63.82
	U ₄ -L ₅	80.6	73.51



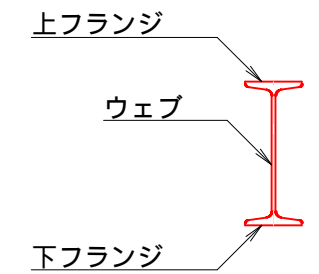
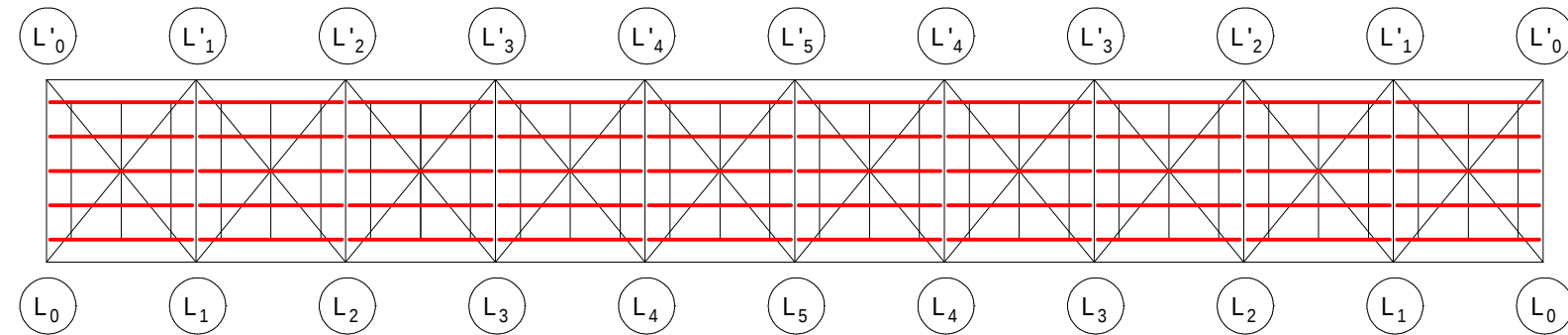
部材	部位	健全時 断面積 A(cm2)	余裕断面積 Am(cm2)
横桁	上フランジ	51.6	11.10
	ウェブ	97.5	76.80
	下フランジ	51.6	11.10



部材	部材番号	健全時 断面積 A(cm2)	余裕断面積 Am(cm2)
上弦材	U ₀ -U ₁	125.0	35.08
	U ₁ -U ₂	125.0	36.06
	U ₂ -U ₃	197.5	33.90
	U ₃ -U ₄	197.5	34.82
	U ₄ -U ₅	222.5	41.74



部材	部材番号	健全時 断面積 A(cm2)	余裕断面積 Am(cm2)
垂直材	U ₀ -L ₀	125.0	16.58
	U ₁ -L ₁	46.0	42.07
	U ₂ -L ₂	46.0	25.88
	U ₃ -L ₃	46.0	38.75
	U ₄ -L ₄	46.0	25.88
	U ₅ -L ₅	46.0	37.93



部材	部位	健全時 断面積 A(cm2)	余裕断面積 Am(cm2)
縦桁	上フランジ	27.8	9.90
	ウェブ	26.3	22.00
	下フランジ	27.8	9.90

- 注記
- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
 - 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。施工前に損傷状況・形状寸法調査を行い、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
 - 綾構及びガセットプレート等は、主要部材の対象外とし、二次部材と扱い、当て板補強を行わないことを基本とする。なお、二次部材に著しい損傷が確認された場合には、監督職員と協議の上、補修内容決定すること。
 - 詳細調査においてリベット及び高力ボルトの脱落およびゆるみは見られない。補修工事においてリベット及び高力ボルトの損傷が見られる場合は監督職員と協議の上、リベット及び高力ボルトの取替を実施すること。
 - 余裕断面積Amとは各部材・部位が許容できる断面欠損量のことであり、余裕欠損率とは健全断面積に対して各部位・部材が許容できる断面欠損率のことである。
 - 補修対象はA1-P2の径間である。

日野橋（車尾日野橋既完線）	
図面番号	第 14 枚内 8 号
図面名称	市道車尾日野橋既完線日野橋 横りょう補修工事（その1） 補修要領図(その2)
縮 尺	図示（A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示）
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

(鋼部材補修)

The image contains two technical drawings illustrating repair specifications for structural components.

Top Drawing: Plate Repair

- Dimensions:** The plate has a width of 100mm ラウンド (100mm rounded) and a height of 100mm ラウンド (100mm rounded). The repair area is defined by a width of 80以上 (80 or more) on both sides and a height of 24t (24 times the thickness).
- Damage:** The damaged area (損傷範囲) is indicated by a hatched oval.
- Repair:** The repair area is filled with diagonal hatching and contains several yellow circles representing high-strength bolts (高力ボルト M22 (TCBまたはHTB)).
- Labels:** Labels include "100mm ラウンド", "80以上", "損傷範囲", "24t", "高力ボルト M22 (TCBまたはHTB)", and "腐食等" (corrosion, etc.).

Bottom Drawing: Beam Repair

- Dimensions:** The beam has a width of 100mm ラウンド (100mm rounded) and a height of 8mm以上 (8mm or more). The repair area is defined by a width of 80以上 (80 or more) on both sides and a height of 24t (24 times the thickness).
- Damage:** The damaged area (損傷範囲) is indicated by a hatched oval.
- Repair:** The repair area is filled with diagonal hatching and contains several yellow circles representing high-strength bolts (高力ボルト M22 (TCBまたはHTB)).
- Labels:** Labels include "100mm ラウンド", "80以上", "損傷範囲", "24t", "高力ボルト M22 (TCBまたはHTB)", and "鉄バテ等による索地調整" (adjustment of the cable bed by iron plates, etc.).

1. 施工前に断面修復範囲を調査し、補修箇所を確認すること。
2. 当て板設置部の減肉部を鉄バテ等により整形すること。
3. 当て板寸法は100mmラウンドを基本とする。
4. 当て板補強工に使用するボルトはトルシア型高力ボルト(TCB)を基本とする。
トルシア型高力ボルトが適用できない場合には、高力ボルト(HTB)を使用すること。
5. 最外縁のボルトの縁端距離および腐食端部からボルト中心までの寸法を40mm以上確保すること
を基本とする。高力ボルトの首下長さは、母材厚及び当て板の板厚に応じて確定すること。
6. 当て板の板厚は8mmを最小板厚とし、必要に応じて増厚すること。
7. ボルトの間隔は下記を基本とする。これによらない場合には監督職員と協議の上、決定する。

部材軸方向	75～12t
部材軸直角方向	75～24t

なお、tは連結する部材の最小板厚のことを示す。

基本的な基準距離(40mm)が確保できない場合には監督職員と協議の上、最小縁端距離を設定すること。

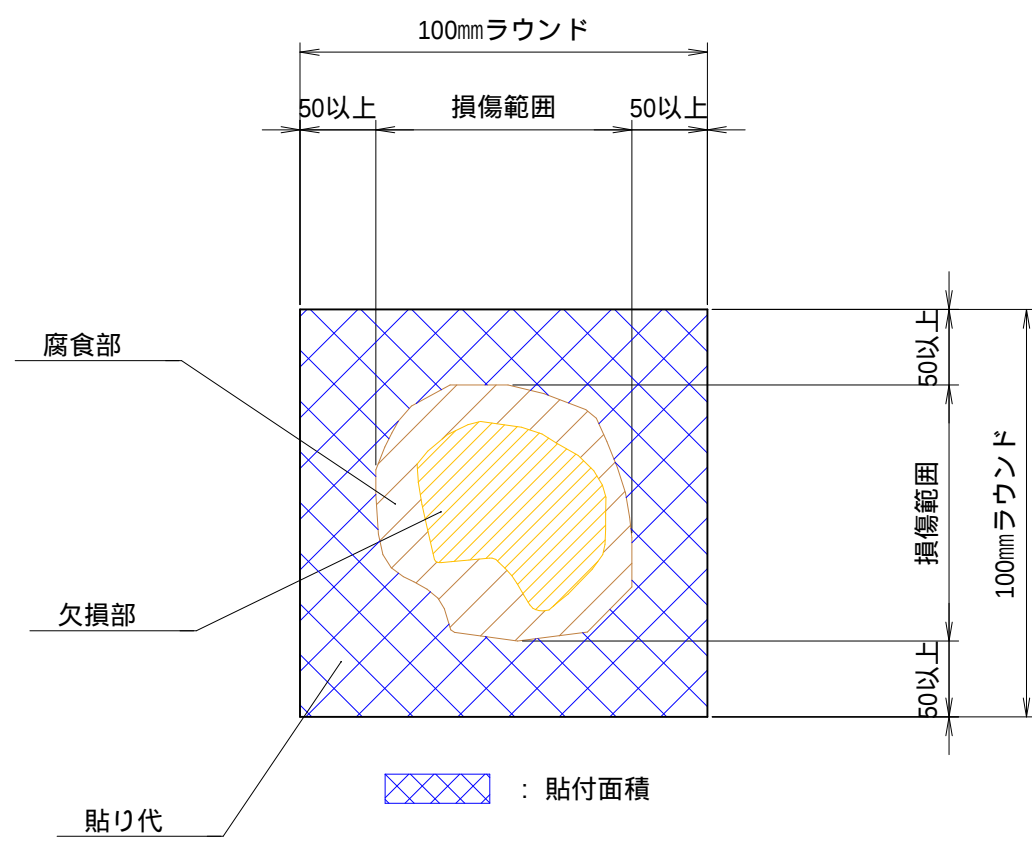
9. リペント（あるいは高力ボルト）の撤去が必要場合は、下記に示す方法にて撤去すること。

リベット径
φ22
孔径
φ23.5

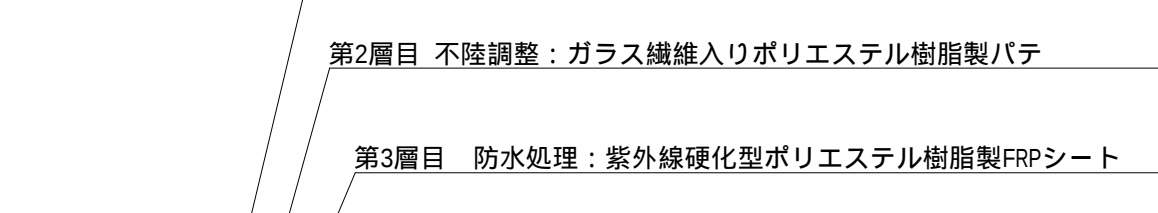
ガス切断

撤去

1. 中心をとるため、リベット撤去時の受座側より抜くことを基本とする。
2. 母材を可能な限り損傷しないように留意すること。
3. リベットが高力ボルトへ取替されている場合は、高力ボルトを撤去すること。



FRPシート詳細図



第1層目 下地処理

第2層目 不陸調整：ガラス繊維入りポリエステル樹脂製パテ

第3層目 防水処理：紫外線硬化型ポリエステル樹脂製FRPシート

第4層目 端部処理：紫外線硬化型樹脂

銅材

欠損部

The diagram illustrates the four-layer construction of an FRP sheet repair. It shows a cross-section of a metal plate (銅材) with a damaged area (欠損部). The repair process involves: 1. Surface treatment (下地処理) of the metal. 2. Application of a leveling paste (不陸調整) containing glass fibers. 3. Application of a waterproofing FRP sheet (防水処理) that cures under UV light. 4. Application of a resin (端部処理) at the edges, also curing under UV light. The layers are labeled with leader lines pointing to their respective parts in the cross-section.

鋼材表面

素地調整工

塗膜剥離・表面調整工 (循環式オープンブラスト工法相当)

下塗工 (有機ジンクリッチペイント)
(0.60kg/m²/回)

下塗工 (弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料下塗 2回)
(0.24kg/m²/回)

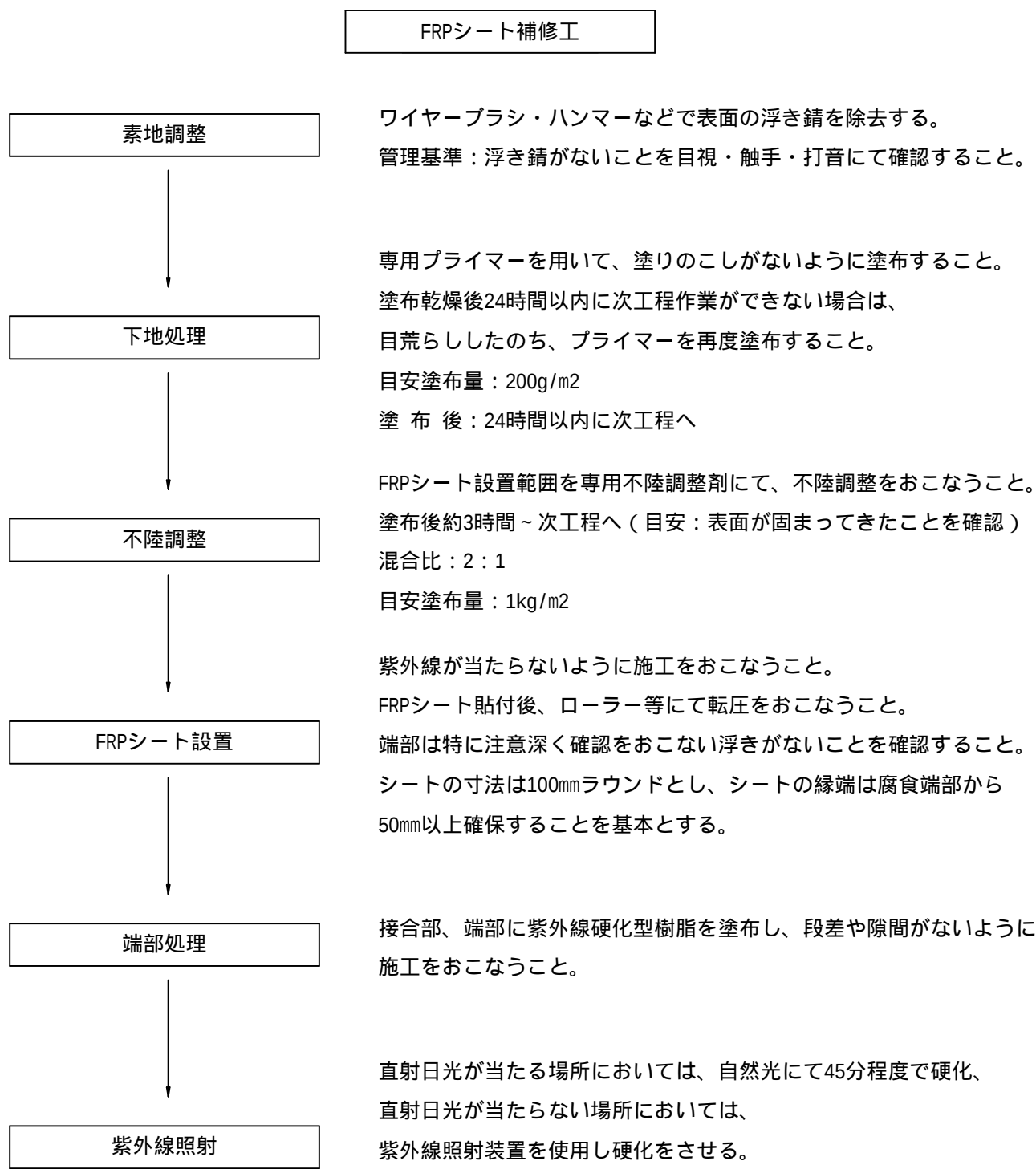
中塗工 (弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗)
(0.17kg/m²/回)

上塗工 (弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗)
(0.14kg/m²/回)

仕様一覧			(Rc-I塗装系)
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1種(循環式オープンプラスト工法相当)		4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

1.補修部分の塗装面積は、おおよその面積であり、現地計測結果を反映し、決定すること。

(紫外線硬化型)



1. 施工前に断面修復範囲を調査し、補修箇所を確認すること。
2. 金属パテ等の不陸調整材により腐食部の表面形成を行うこと。

日野橋（車庫日野橋既設）				
図面番号	第 14 枚内 9 号			
図面名称	市道車庫日野橋既設路日野橋 横りょう補修工事（その1） 補修要領図（その3）			
縮 尺	図示（A版）は表示縮尺の1/2に縮小表示）			
製図年月日	令和	年	月	日
写図年月日	令和	年	月	日
米子市都市整備部道路整備課				

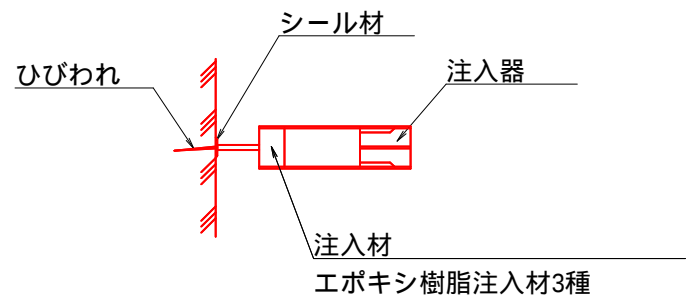
補修要領図(その4)

(コンクリート補修)

ひびわれ補修工（下部工）

ひびわれ注入工（低圧注入工法）

（0.2mm以上1.0mm未満のひびわれ）

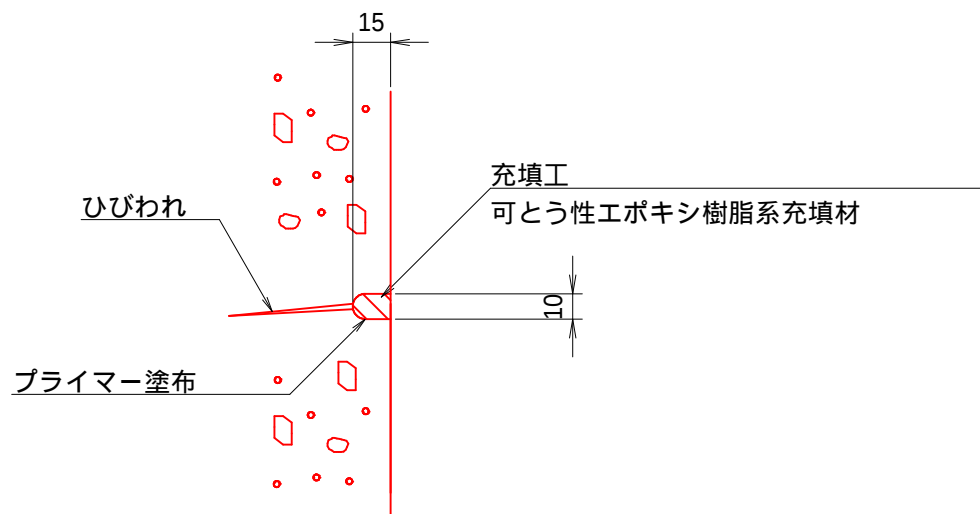


1. 施工前にひびわれ延長、ひびわれ幅の調査を行い補修箇所を確認すること。
2. ひびわれ注入材は、「建設省総合技術開発プロジェクト」に示されるエポキシ樹脂注入材相当とする。
3. 注入材については事前に監督員の承認を得ること。

ひびわれ充填工

（可とう性エポキシ樹脂系充填材）

（1.0mm以上のひびわれ）



1. 施工前にひびわれ延長、ひびわれ幅の調査を行い補修箇所を確認すること。
2. ひびわれ充填材は、可とう性エポキシ樹脂系材料相当とする。
3. 注入材については事前に監督員の承認を得ること。
4. 注入材量の検収（搬入・空缶）については、監督員の確認をえること。

低圧注入工法

ひびわれ調査・数量確定

注入器セット(設置位置マーキング)

パイプ間隔(8300)
インジェクター

ひびわれ面シール

シール材の養生

注 入

注入量の確認・養生

注入器撤去

シール材撤去

終 了

ひびわれ充填工法

ひびわれ調査・数量確定

ひびわれ面のUカット

Uカット用カッター

清 掃

プライマー塗布

充填材の充填

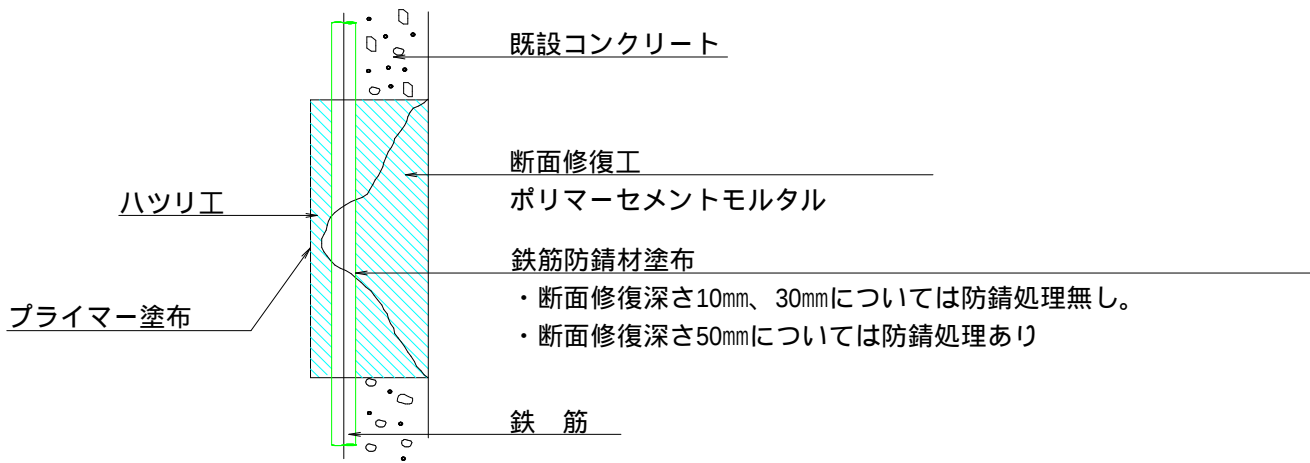
可とう性エポキシ樹脂系充填材

養 生

終 了

(左官工法)

(ポリマーセメントモルタル)



1. 施工前に断面修復範囲を調査し、補修箇所を確認すること。
2. 劣化・不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう周囲に深さ1～3cm程度切断目地を入れ、入念に施工する。
3. 施工不良により、鉄筋かぶりが薄い箇所はかぶり20mmを確保したうえで周辺にすりつけること。
4. 損傷個所に鉄筋がある場合は、鉄筋の裏側までコンクリートをはつり取り、錆の除去・防錆、コンクリートへのプライマー塗布を行い、入念に施工すること。
5. 断面修復材はポリマーセメント系とする。
「表面保護工法・設計施工指針」に示される断面修復材の規格を満足すること。
6. 断面修復材については事前に監督員の承認を得ること。

断面修復工

断面修復工

断面修復範囲の調査・数量確定

コンクリートカッター入れ・はつり

鉄筋のさび落とし・清掃

鉄筋表面に防錆材

・断面修復深さ10mm、30mmについては防錆処理無し。
・断面修復深さ50mmについては防錆処理あり

プライマー塗布

はつり部の断面修復

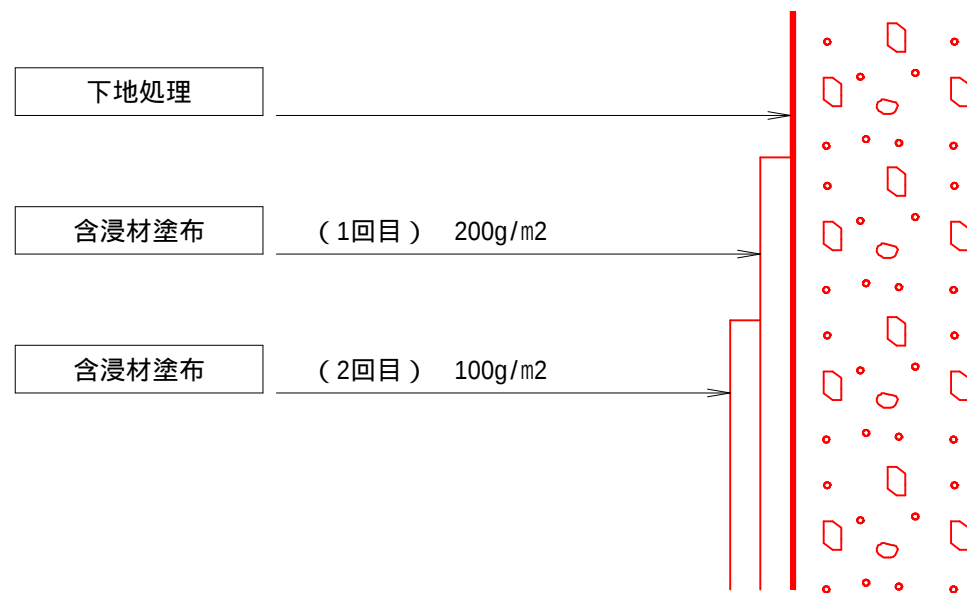
ポリマーセメントモルタル

養 生

終 了

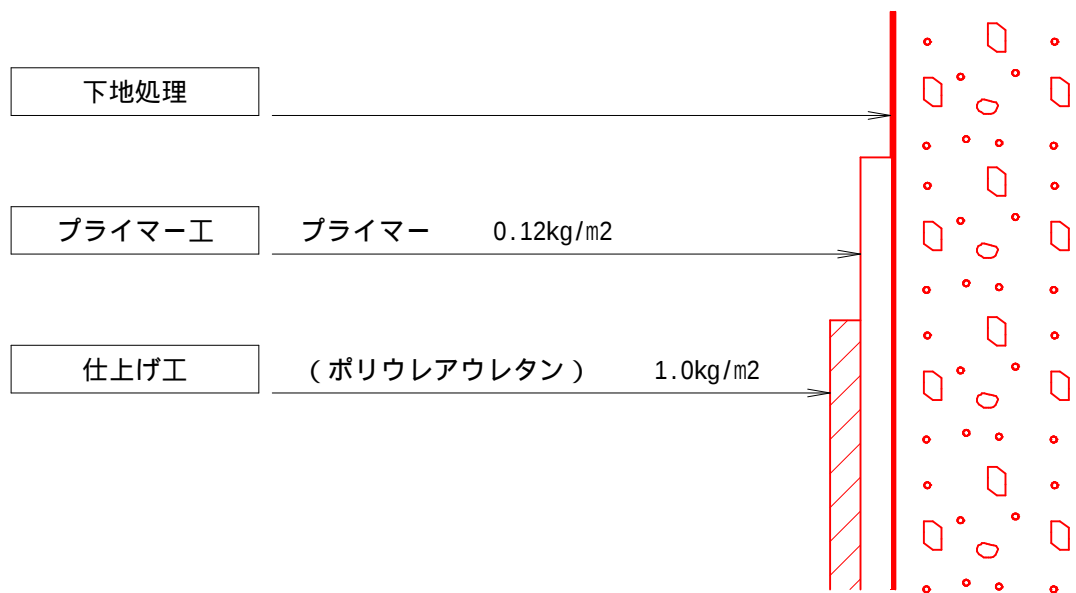
床版補修工（上部工）

含浸材塗布工



1. 施工時の外気温は十分に確認し適用すること。
2. コンクリートの表面含水率が8%以下で、結露がないことを確認すること。
3. コンクリートの表面のはこりや泥等の付着物の除去・清掃が十分に行うこと。
4. 塗布完了後48時間は、塗布面が直接雨にさらされないようにすること。
5. 使用する材料は監督員と協議すること。

剥落防止工



1. 施工時の外気温は-5℃以上であることを確認すること。
2. コンクリートの表面含水率が8%以下で、結露がないことを確認すること。
3. コンクリートの表面は研磨清掃し、表面を平滑にすること。

注記

1. 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。
現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
2. 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。
施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。

日野橋（車尾日野橋側完線）	
図面番号	第 14 枚内 10 号
図面名称	市道車尾日野橋既完線日野橋 橋りょう補修工事（その1） 補修要領図(その4)
縮 尺	図示（A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示）
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

補修要領図(その5)

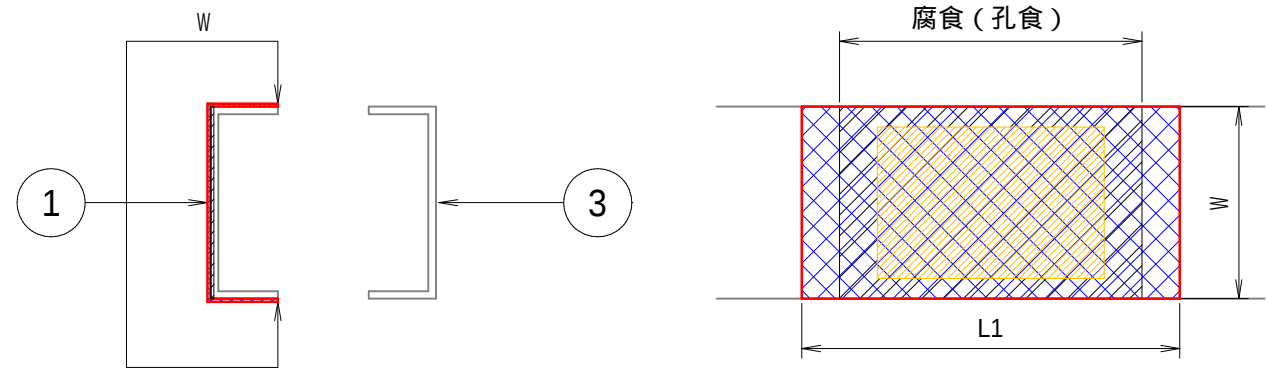
S=1:10

(鋼部材補修)

斜 材

垂 直 材

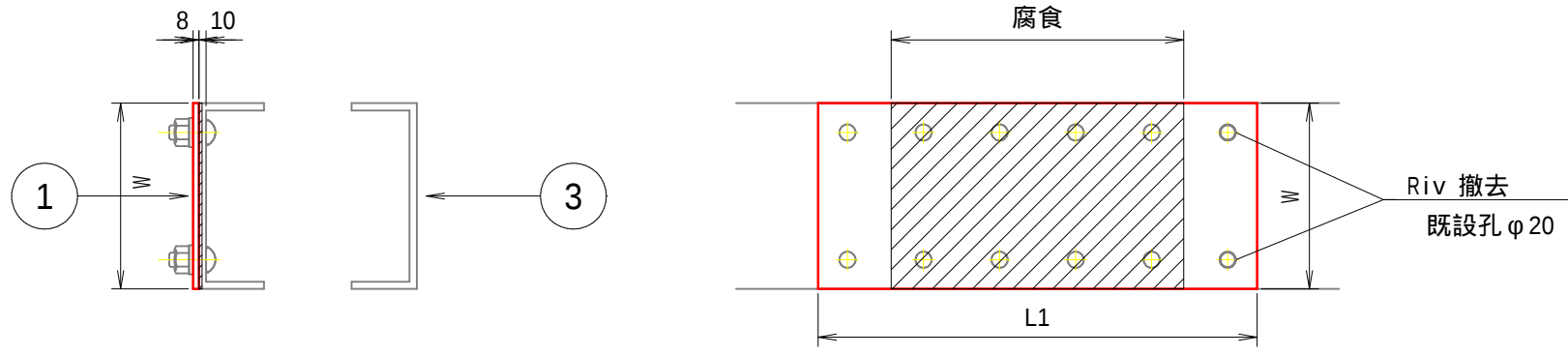
FRPシート補修 1
F-1-2, F-3-3



n - W x L1(紫外線硬化型FRPシート)

n(箇所)	W	L1	補修番号
1	200	200	F-3-3
1	400	500	F-1-2

当て板補強 1
F-1-2, F-3-3

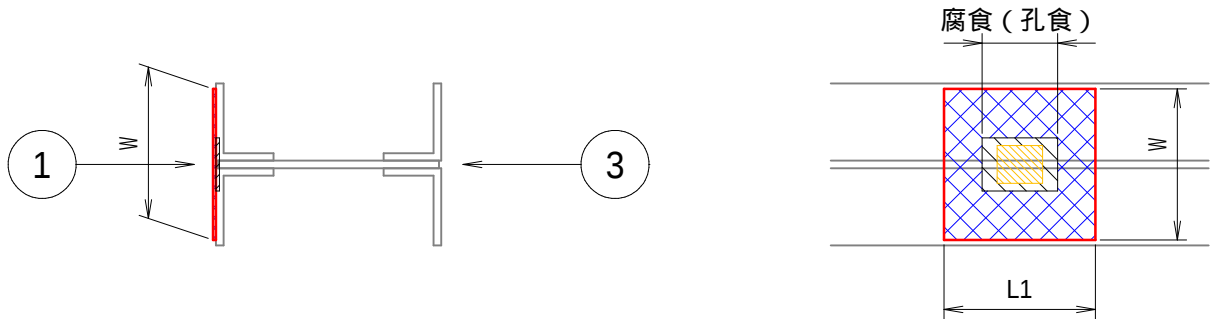


n -PL W x 8 x L1(SS400)
n1-M22 x 55 (S10T)

n(箇所)	n1(本)	n2(本)	W	L1	補修番号
1	6	-	300	300	F-3-3
1	12	2	500	600	F-1-2

【撤去】
n2-Riv

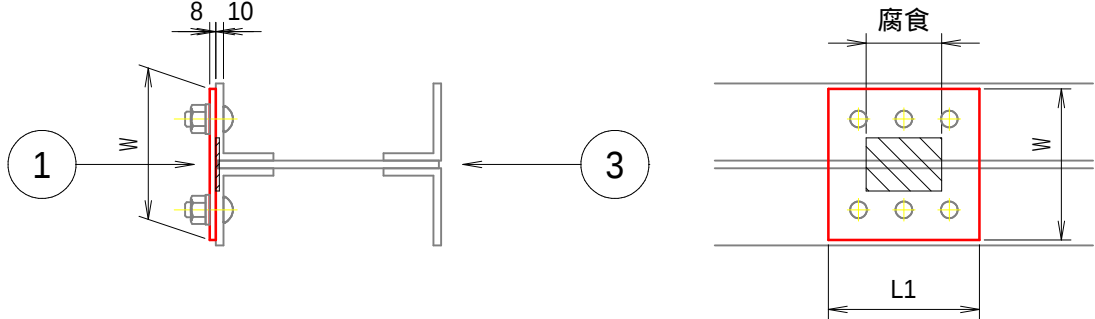
FRPシート補修 4
F-1-1



n - W x L1(紫外線硬化型FRPシート)

n(箇所)	W	L1	補修番号
1	200	200	F-1-1

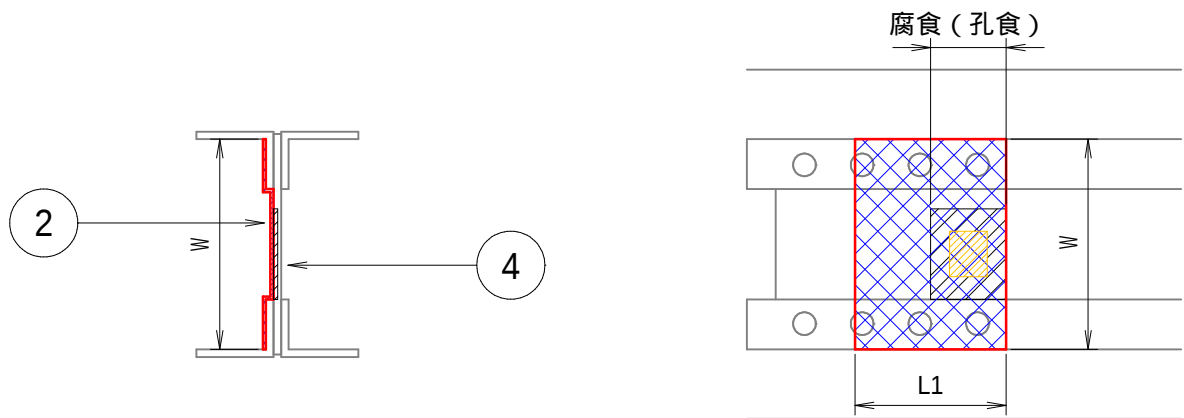
当て板補強 4
F-1-1



n -PL W x L1 x 8
n1-M22 x 55 (S10T)

n(箇所)	n1(本)	W	L1	補修番号
1	6	200	200	F-1-1

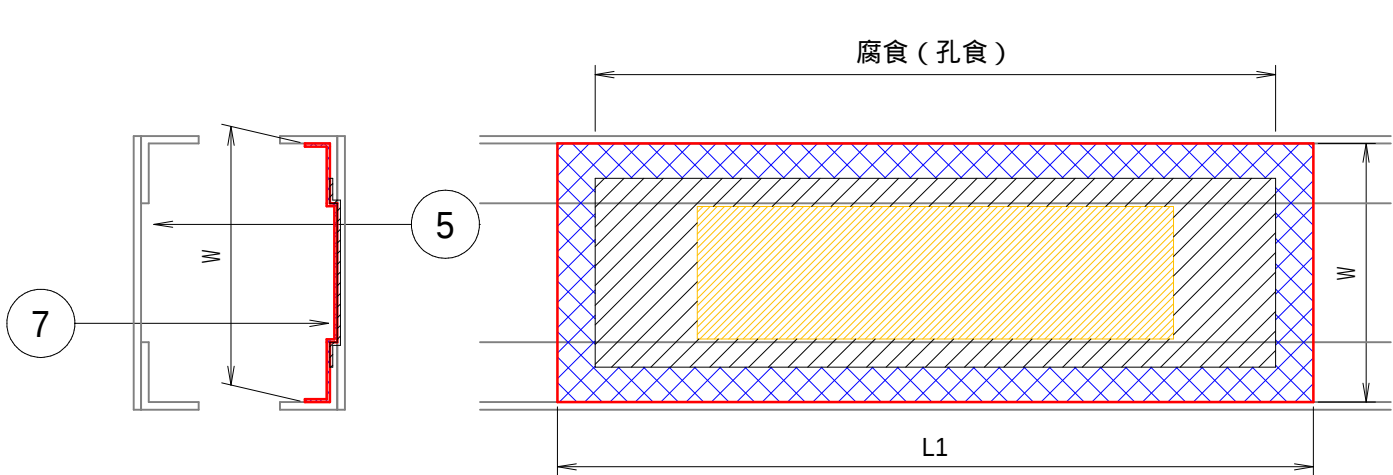
FRPシート補修 5
F-2-3, F-2-6, F-4-1



n - W x L1(紫外線硬化型FRPシート)

n(箇所)	W	L1	補修番号
1	200	200	F-2-3
2	200	300	F-2-6, F-4-1

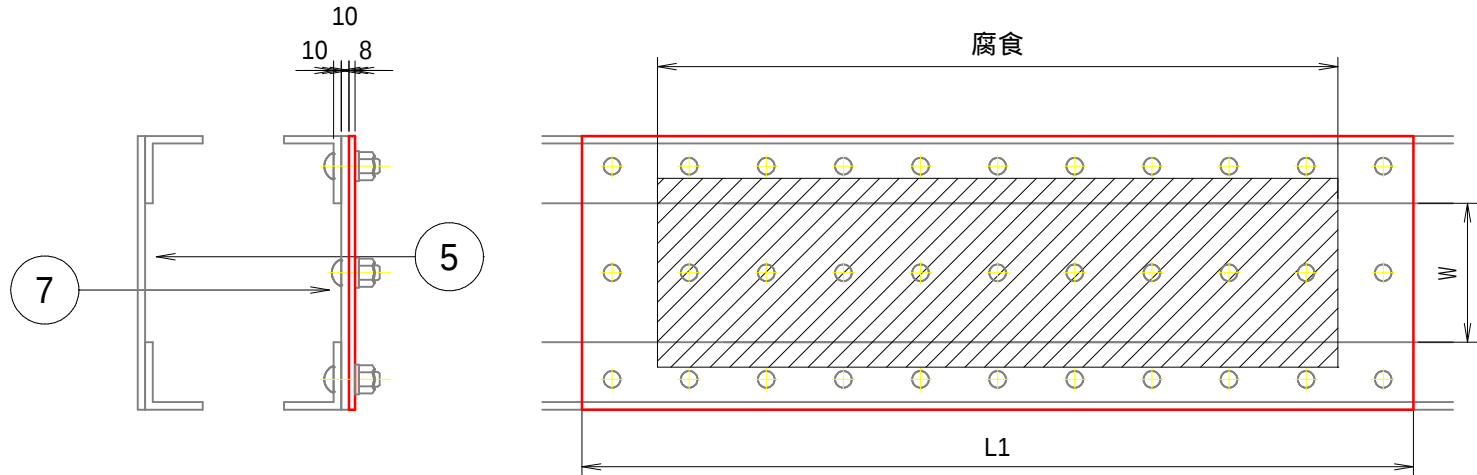
FRPシート補修 2
F-5-3, F-5-4, F-5-5, F-5-6, F-7-1, F-7-2



n - W x L1(紫外線硬化型FRPシート)

n(箇所)	W	L1	補修番号
5	200	200	F-5-3, F-5-4, F-5-5, F-5-6, F-7-1
1	400	1000	F-7-2

当て板補強 2
F-5-3, F-5-4, F-5-5, F-5-6, F-7-1, F-7-2

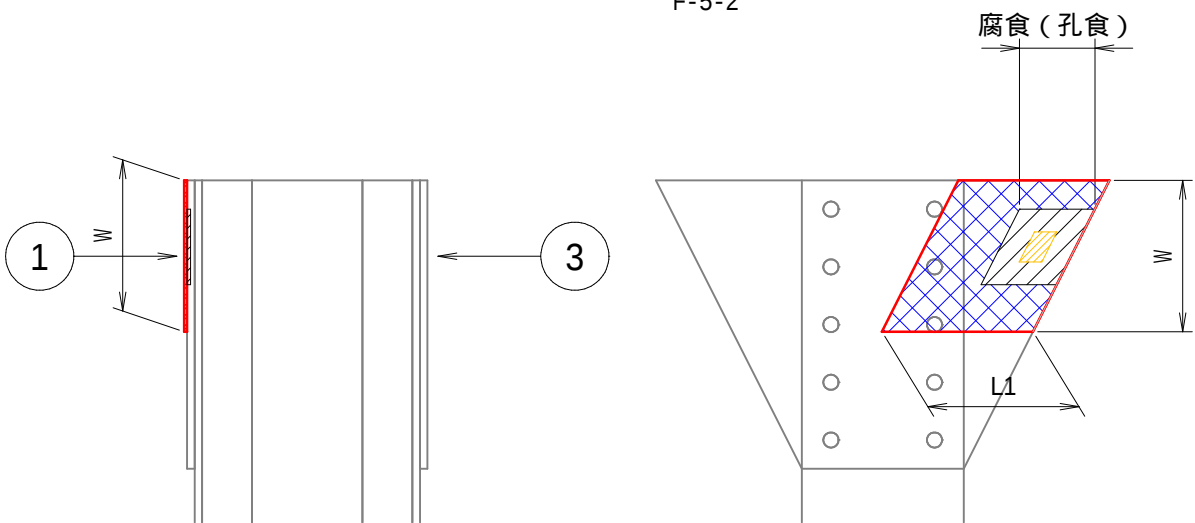


n -PL W x 8 x L1(SS400)
n1-M22 x 55 (S10T)
n2-M22 x 65 (S10T)

n(箇所)	n1(本)	n2(本)	W	L1	補修番号
3	2	4	200	200	F-5-3, F-5-4, F-5-6
1	3	6	200	300	F-5-5
1	3	6	300	300	F-7-1
1	11	22	500	1100	F-7-2

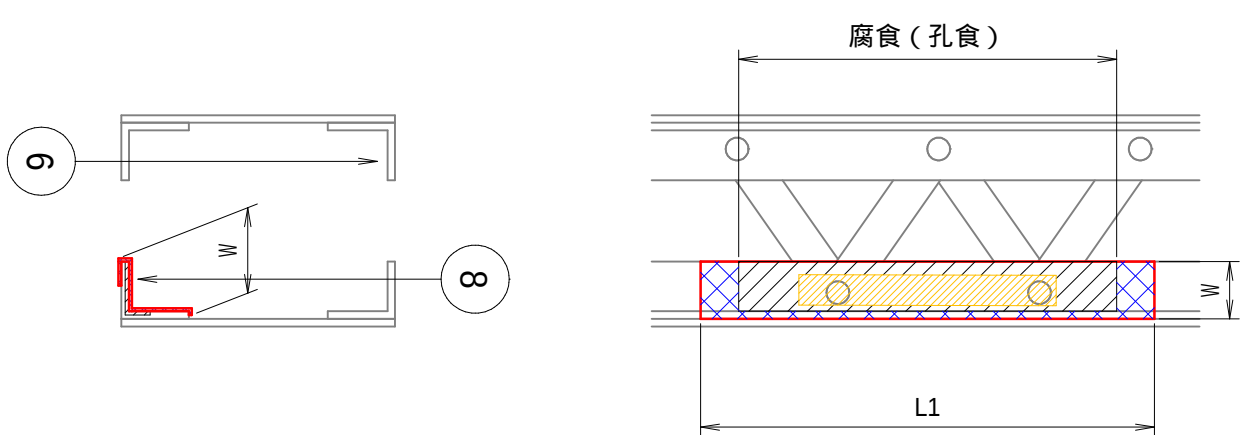
垂直材 ガセットプレート部

FRPシート補修 6
F-5-2



n(箇所)	W	L1	補修番号
1	200	200	F-5-2

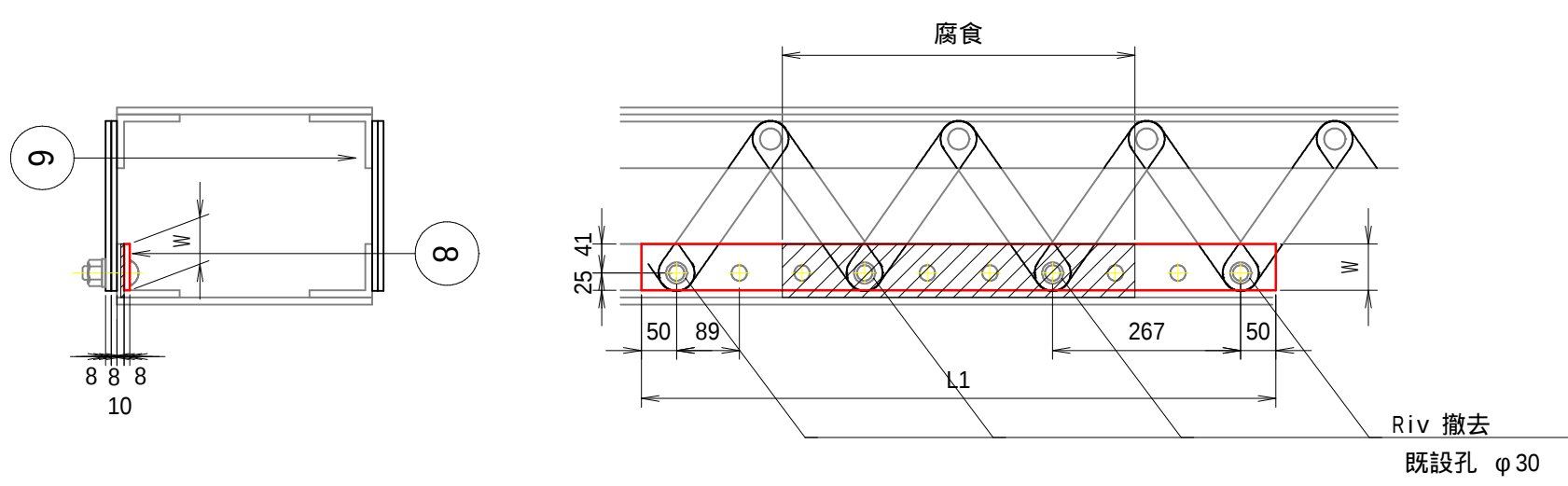
FRPシート補修 3
F-8-1



n - W x L1(紫外線硬化型FRPシート)

n(箇所)	W	L1	補修番号
1	200	600	F-8-1

当て板補強 3
F-8-1



n -PL W x 8 x L1(SS400)
n1-M22 x 70 (S10T)

n(箇所)	n1(本)	n2(本)	W	L1	補修番号
1	10	4	300	900	F-8-1

【撤去】
n2-Riv

注記

- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
 - 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。
 - 施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
 - 当て板補強部は素地調整後、鉄パテにより表面を整正すること。
 - 寸法は代表例を示す。
- 他の部材については代表例を参照して算出している。

日野橋（車尾日野橋側完線）

図面番号	第 14 枚内 11 号
図面名称	市道車尾日野橋側完線日野橋 橋りょう補修工事（その1） 補修要領図(その5)
縮 尺	図示（A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示）
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

補修要領図(その6)

S=1:10

(鋼部材補修)

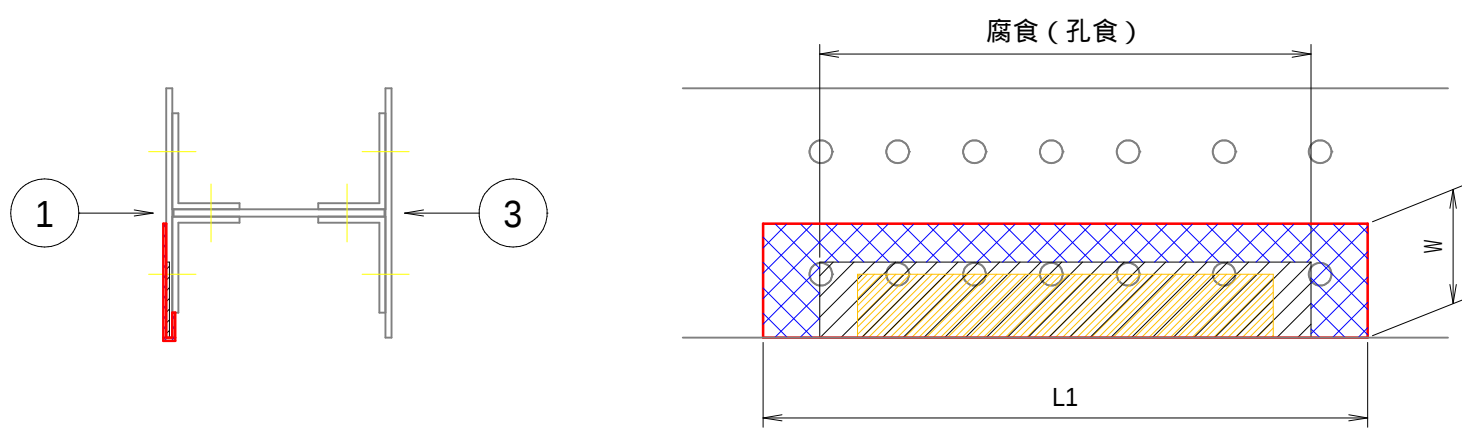
下 弦 材

下弦材全体

カバープレート撤去工

FRPシート補修 8

F-1-1,F-1-2

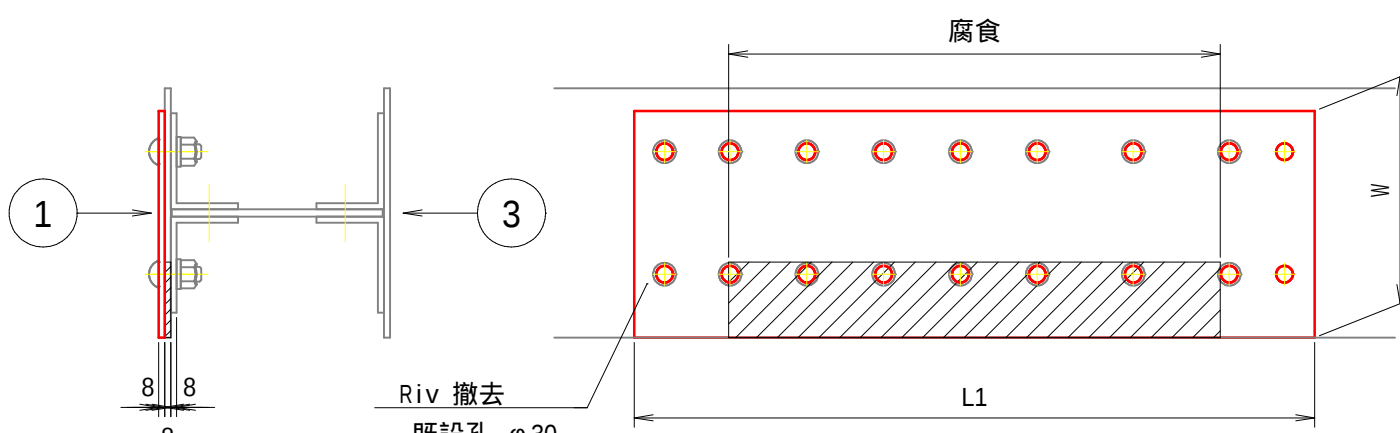


n - W x L1(紫外線硬化型FRPシート)

n	W	L1	補修番号
1	200	800	F-1-1
1	200	700	F-1-2

当て板補強 8

F-1-1,F-1-2



n -PL W x 8 x L1(SS400)
n1-W22 x 60 (S10T)

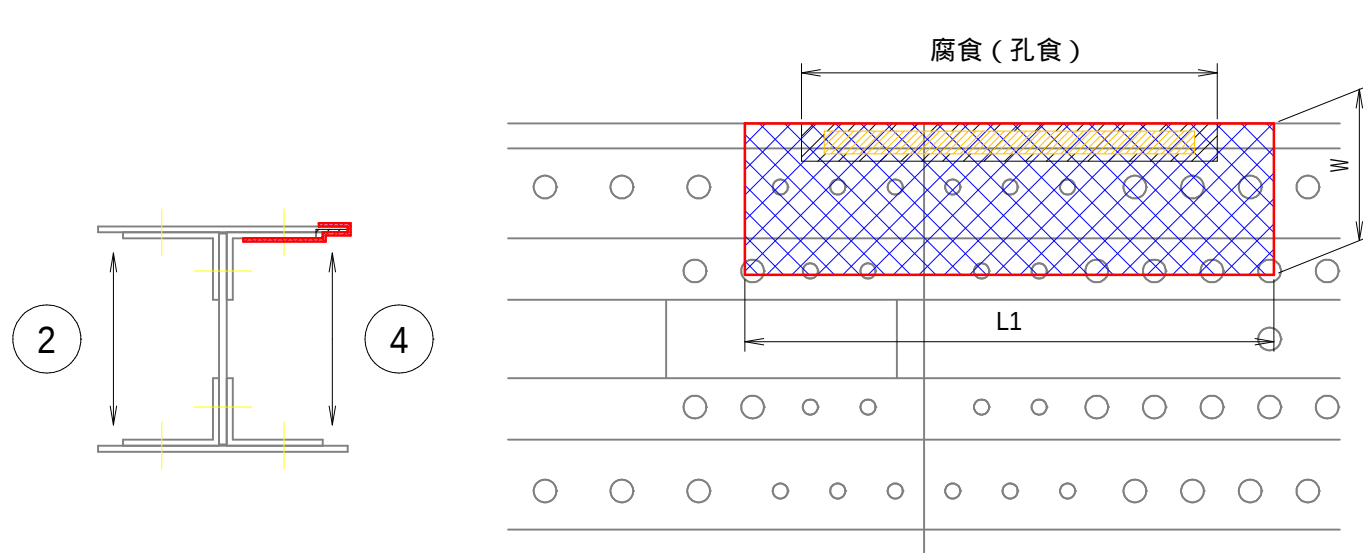
n	n1(本)	n2(本)	W	L1	補修番号
1	18	16	300	900	F-1-1
1	18	18	300	800	F-1-2

【撤去】

n2-Riv

FRPシート補修 9

F-4-2,F-4-3,F-4-4,F-4-5

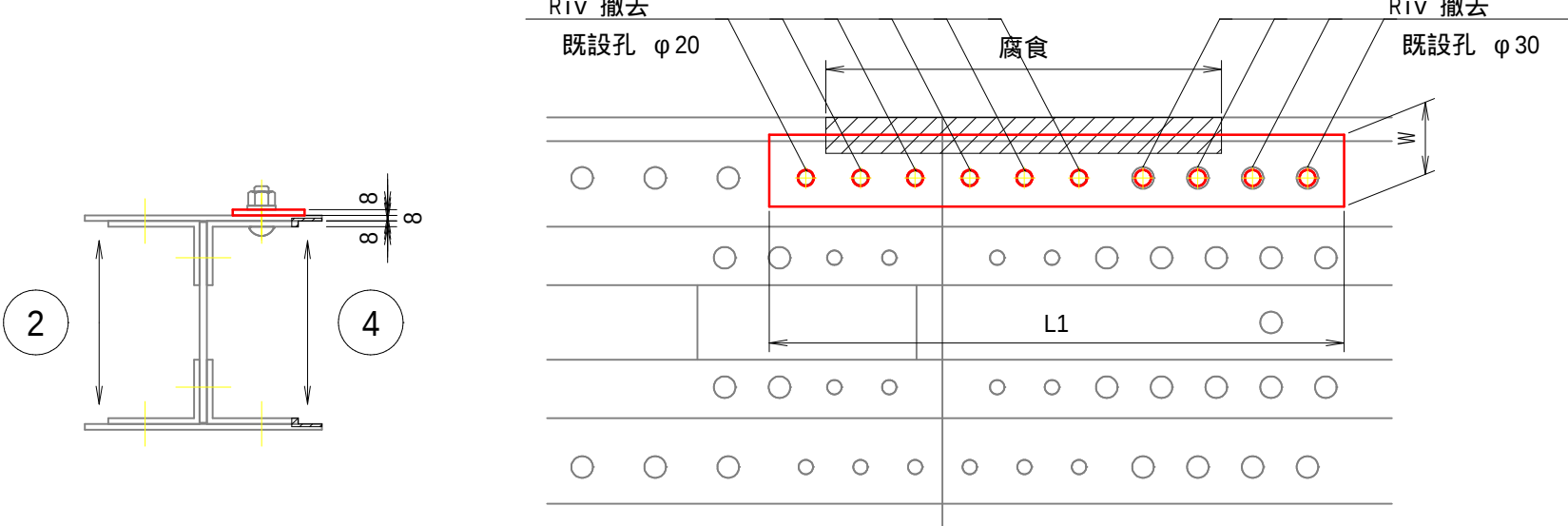


n - W x L1(紫外線硬化型FRPシート)

n	W	L1	補修番号
1	200	2100	F-4-2
1	200	800	F-4-3
1	200	700	F-4-4
1	200	600	F-4-5

当て板補強 9

F-4-2,F-4-3,F-4-4,F-4-5



n -PL W x 8 x L1(SS400)
n1-W22 x 60 (S10T)

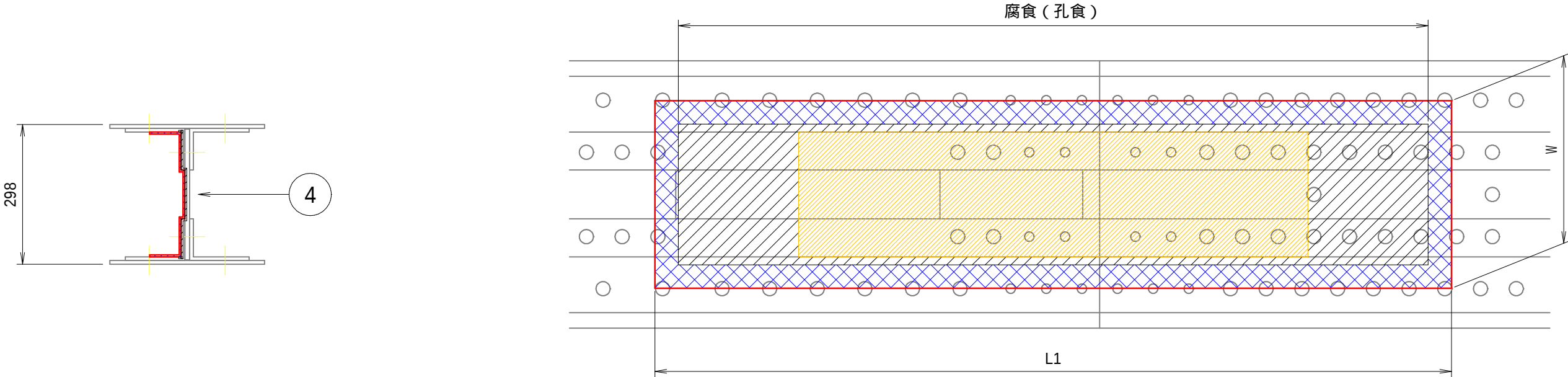
n	n1(本)	n2(本)	W	L1	補修番号
1	21	21	300	2200	F-4-2
1	7	7	300	900	F-4-3
1	10	10	300	800	F-4-4
1	8	8	300	700	F-4-5

【撤去】

n2-Riv

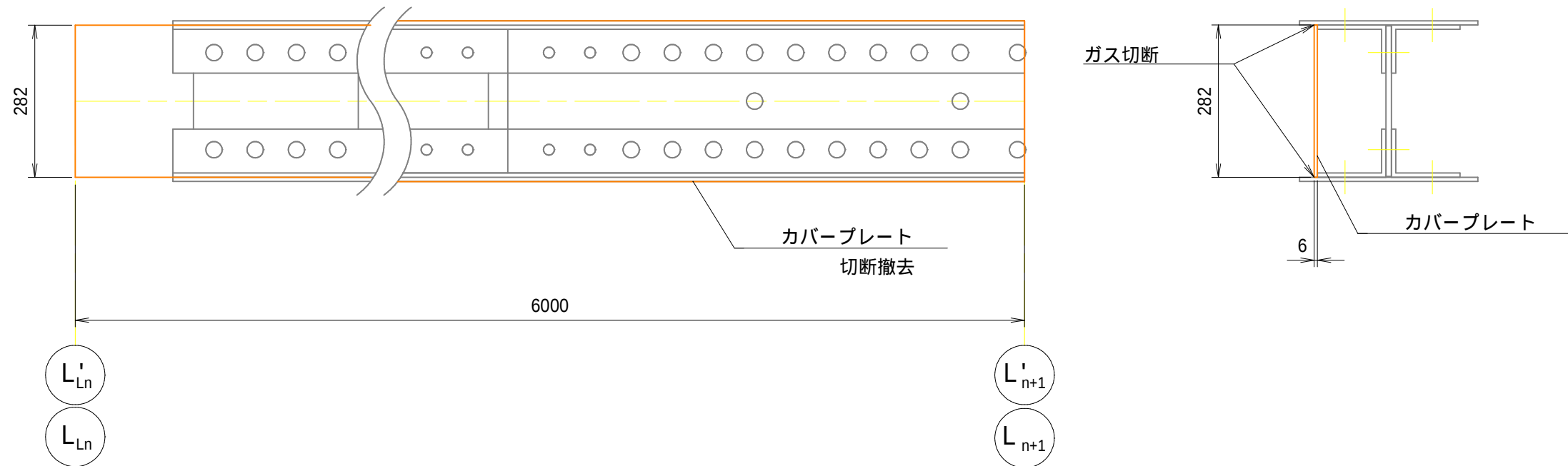
FRPシート補修 10

F-4-1



n - W x L1(紫外線硬化型FRPシート)

n	W	L1	補修番号
2	200	2000	F-4-1



【切断撤去】

1 - カバープレート 282 x 6 x 6000

注記

- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。
現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
- 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。
施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
- 当て板補強部は素地調整後、鉄パテにより表面を整正すること。
- 寸法は代表例を示す。
他の部材については代表例を参照して算出している。

日野橋（単線日野橋既完線）

図面番号	第 14 枚内 12 号
図面名称	市道単線日野橋既完線日野橋 橋りょう補修工事（その1） 補修要領図(その6)
縮 尺	図示（A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示）
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

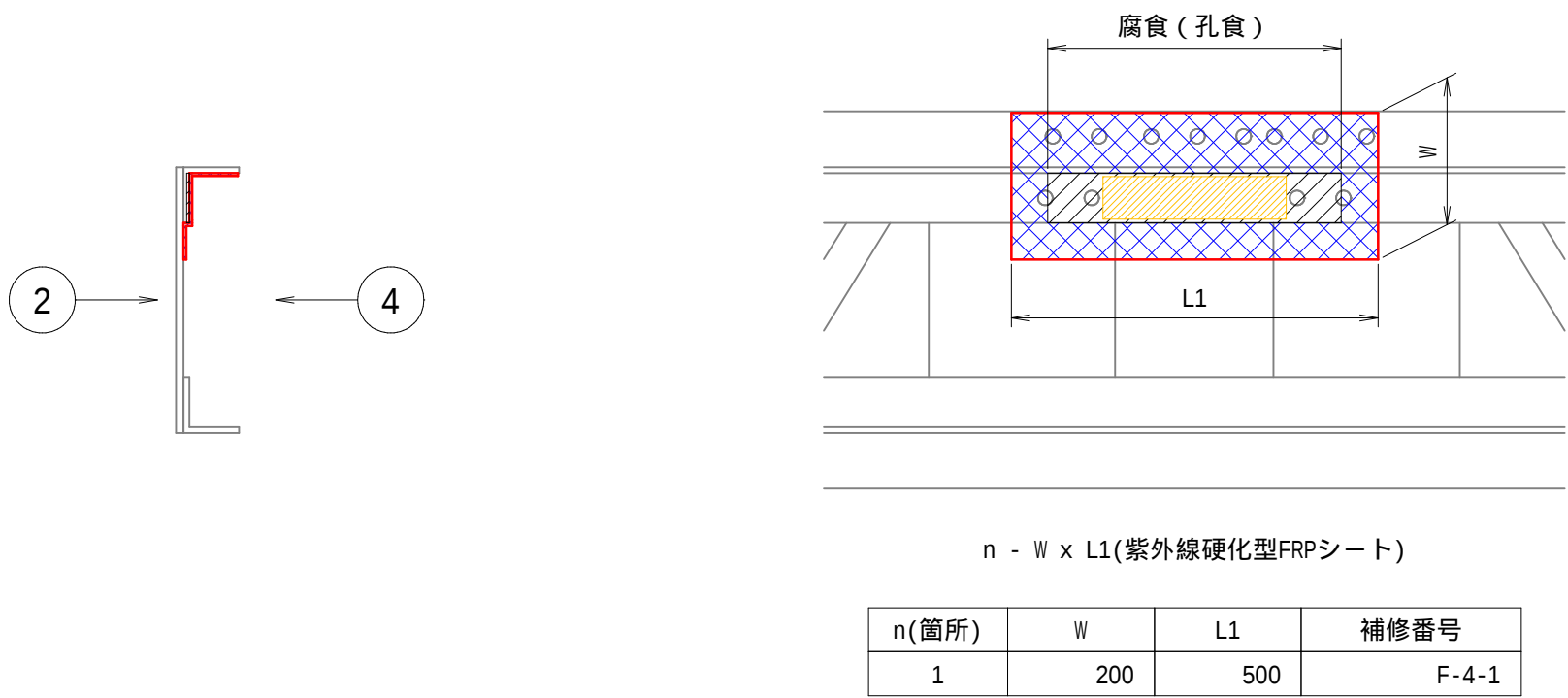
補修要領図(その7)

S=1:10

(鋼部材補修)

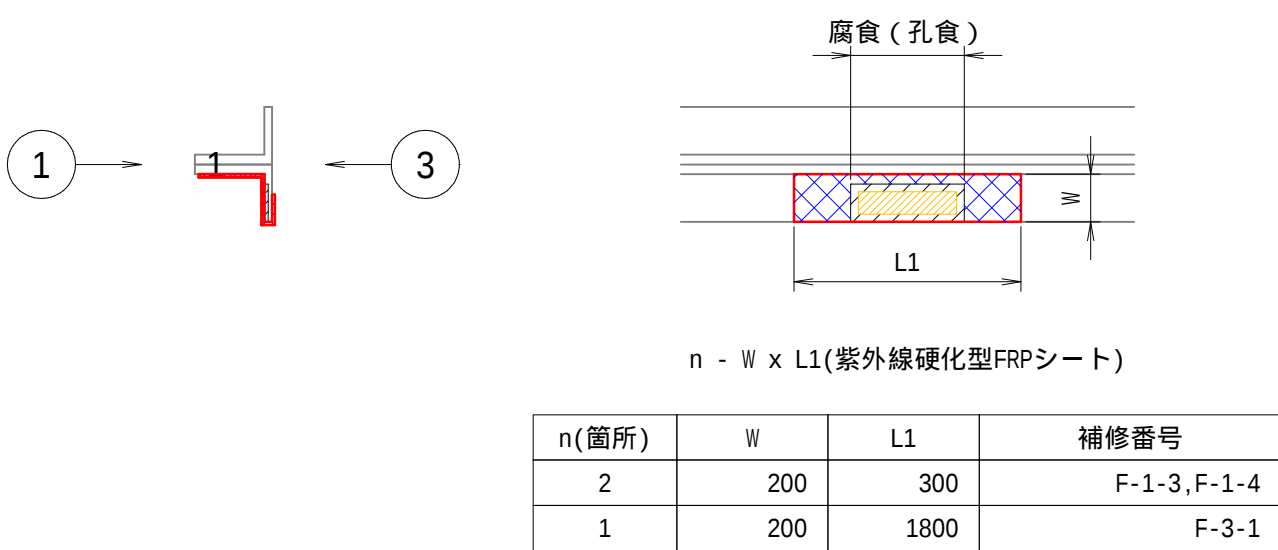
上部横絞構

FRPシート補修 11
F-4-1



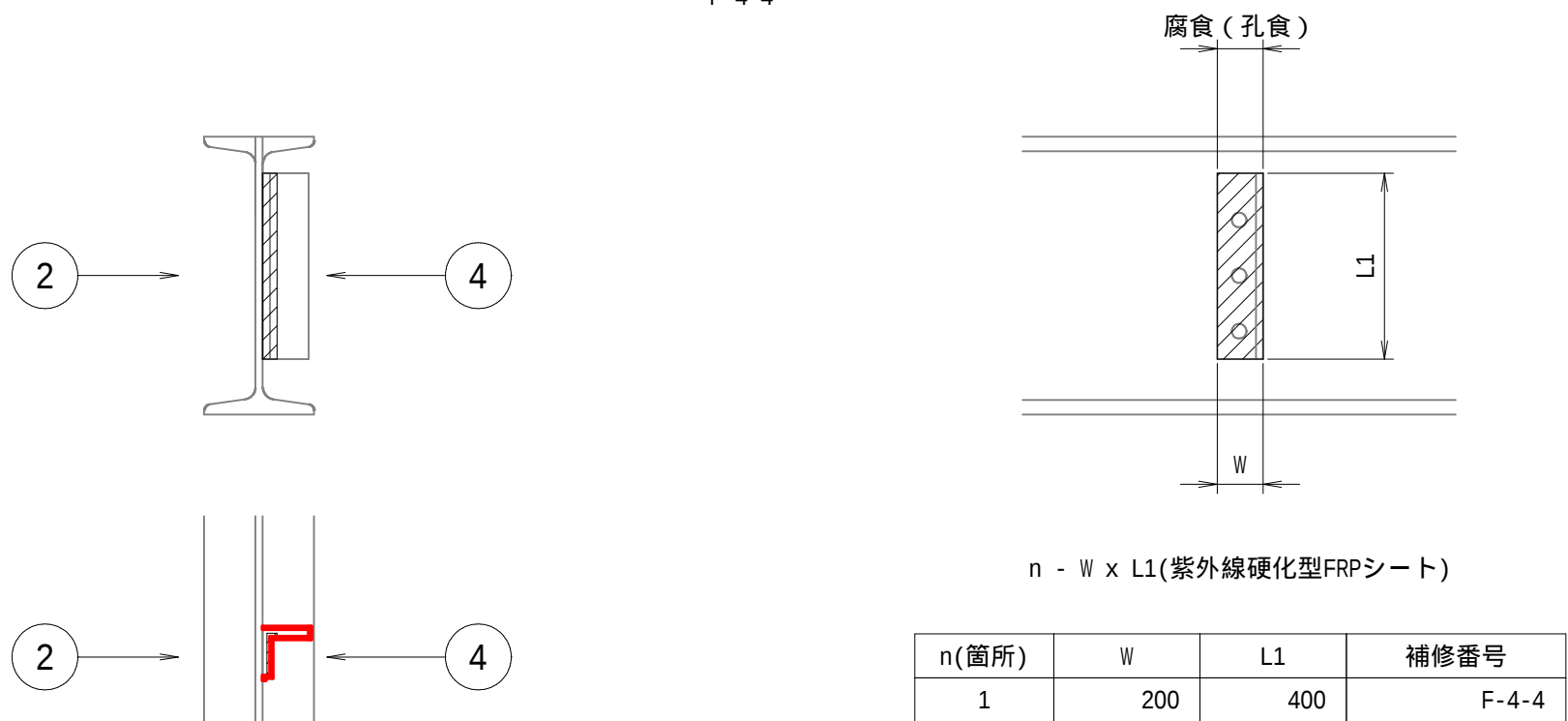
下部横絞構

FRPシート補修 12
F-1-3, F-1-4, F-3-1



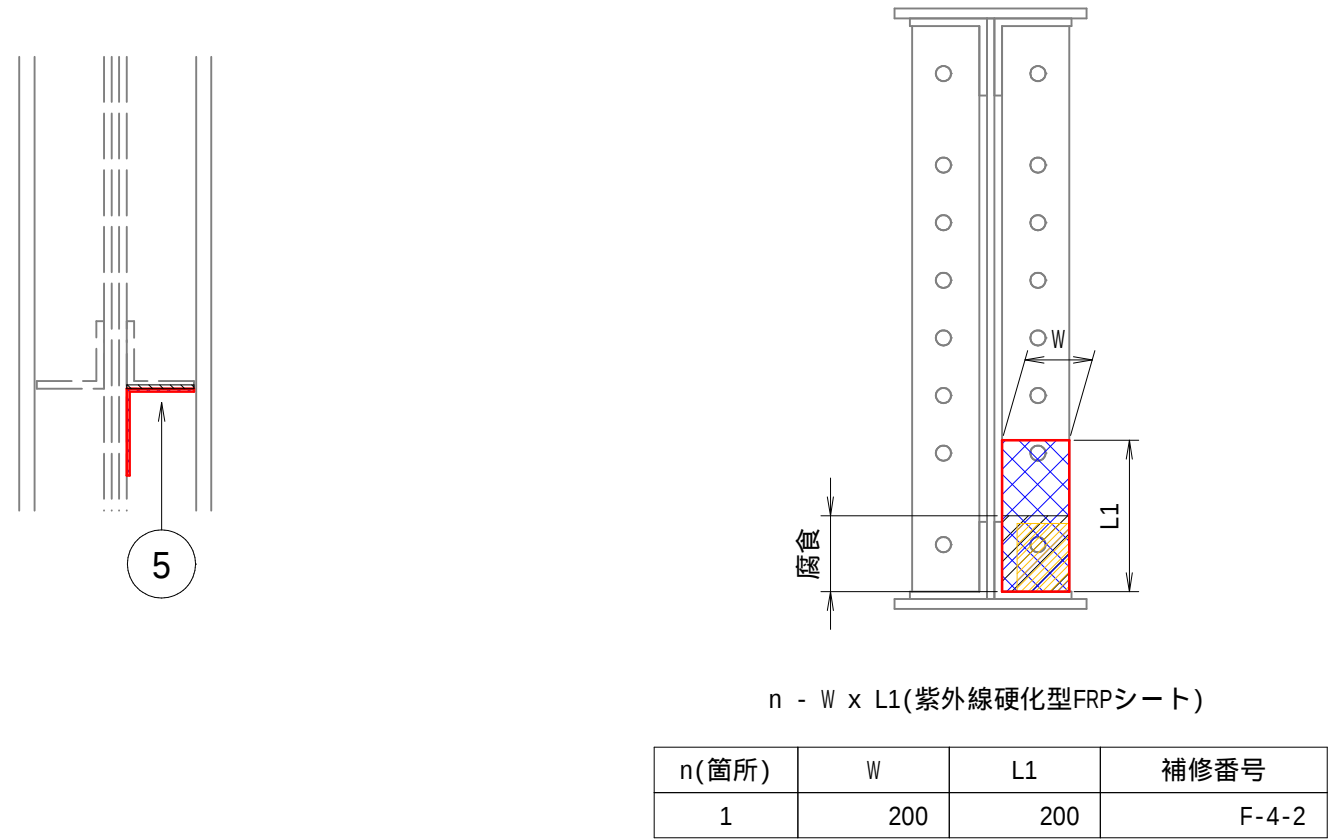
縦桁

FRPシート補修 13
F-4-4

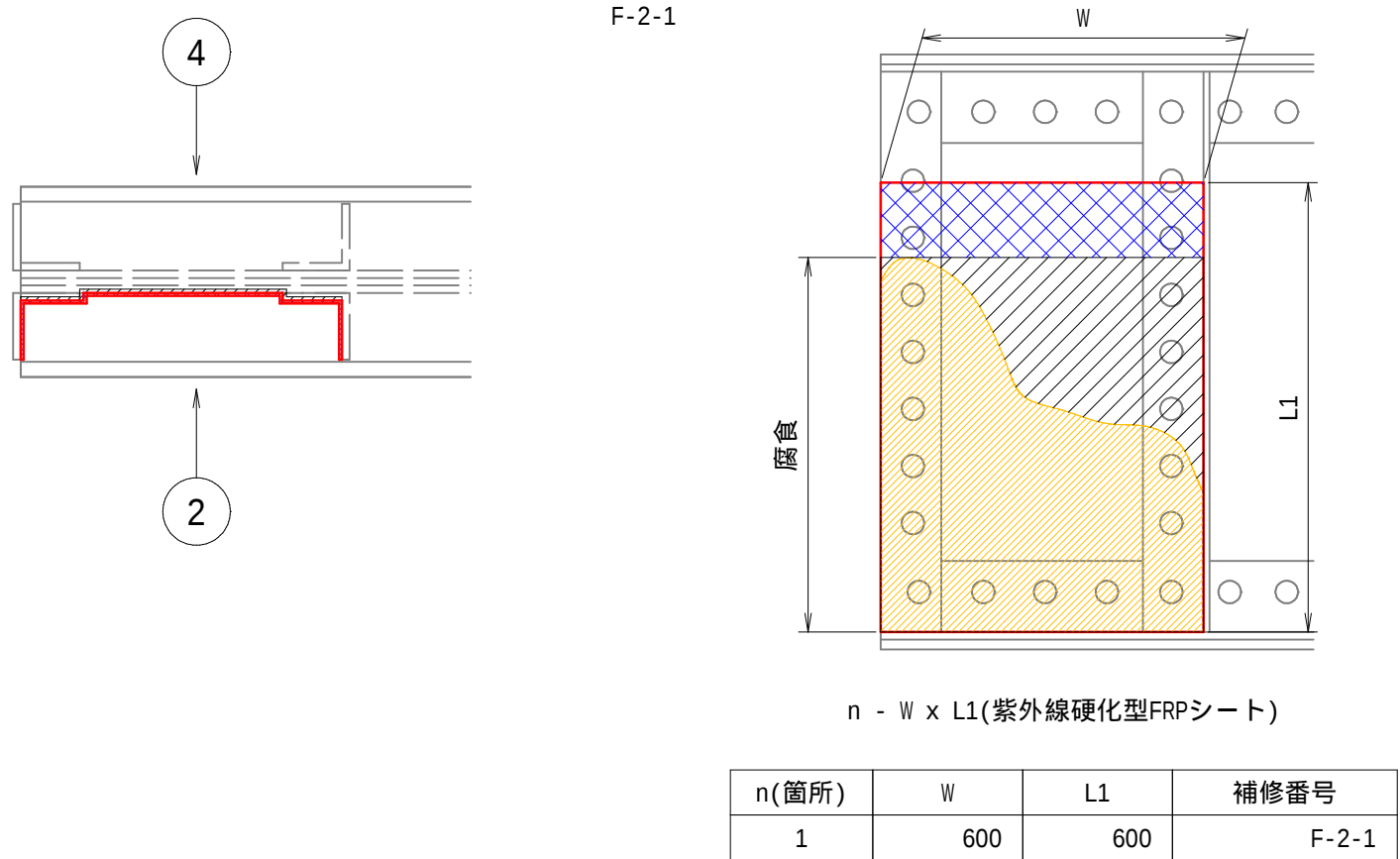


横桁

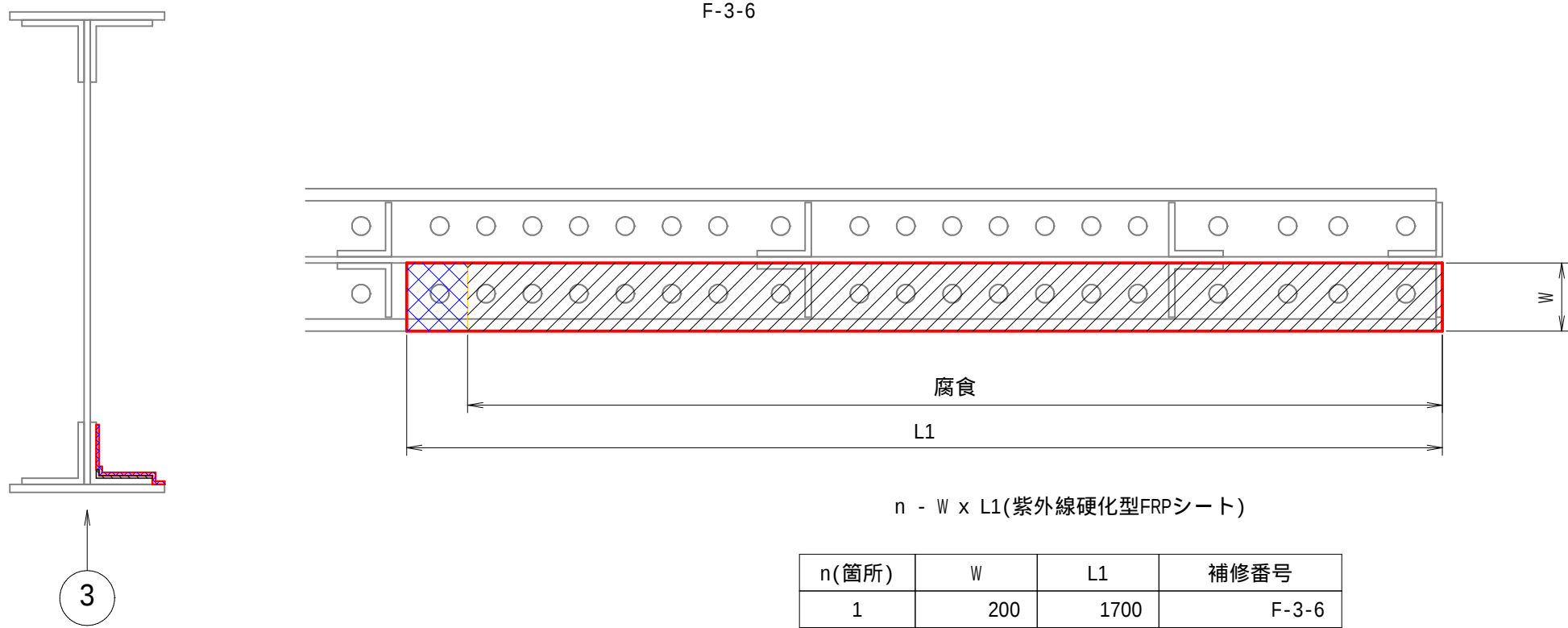
FRPシート補修 14
F-4-2



FRPシート補修 15
F-2-1



FRPシート補修 16
F-3-6

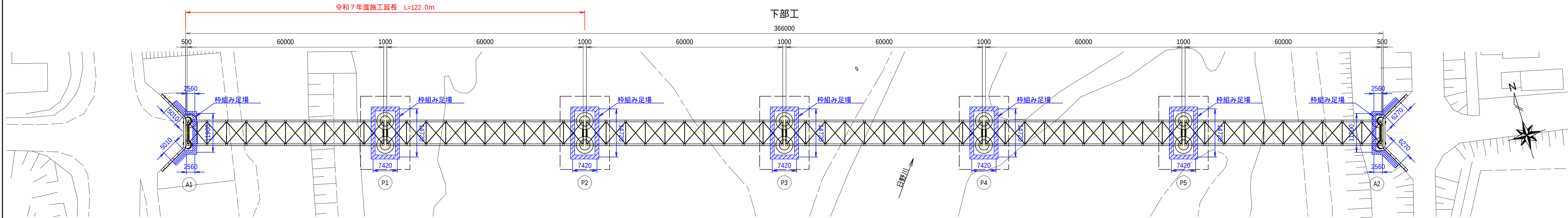
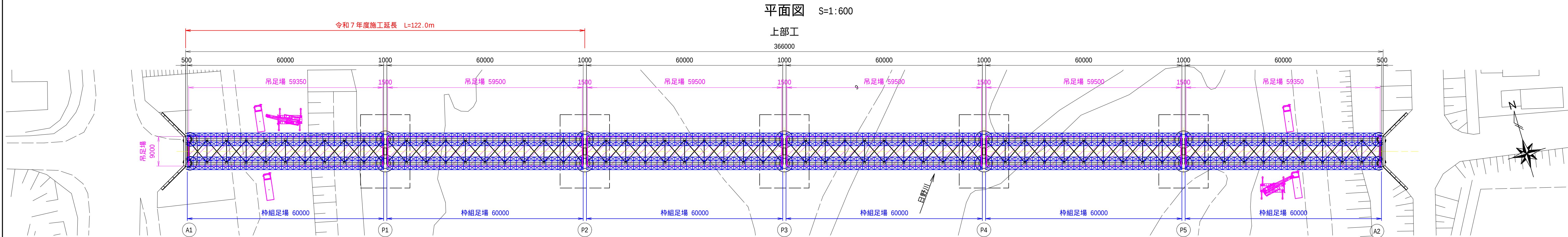
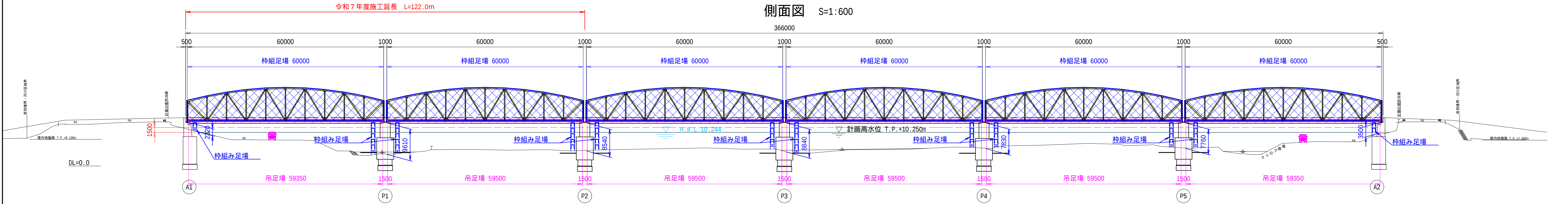


注記

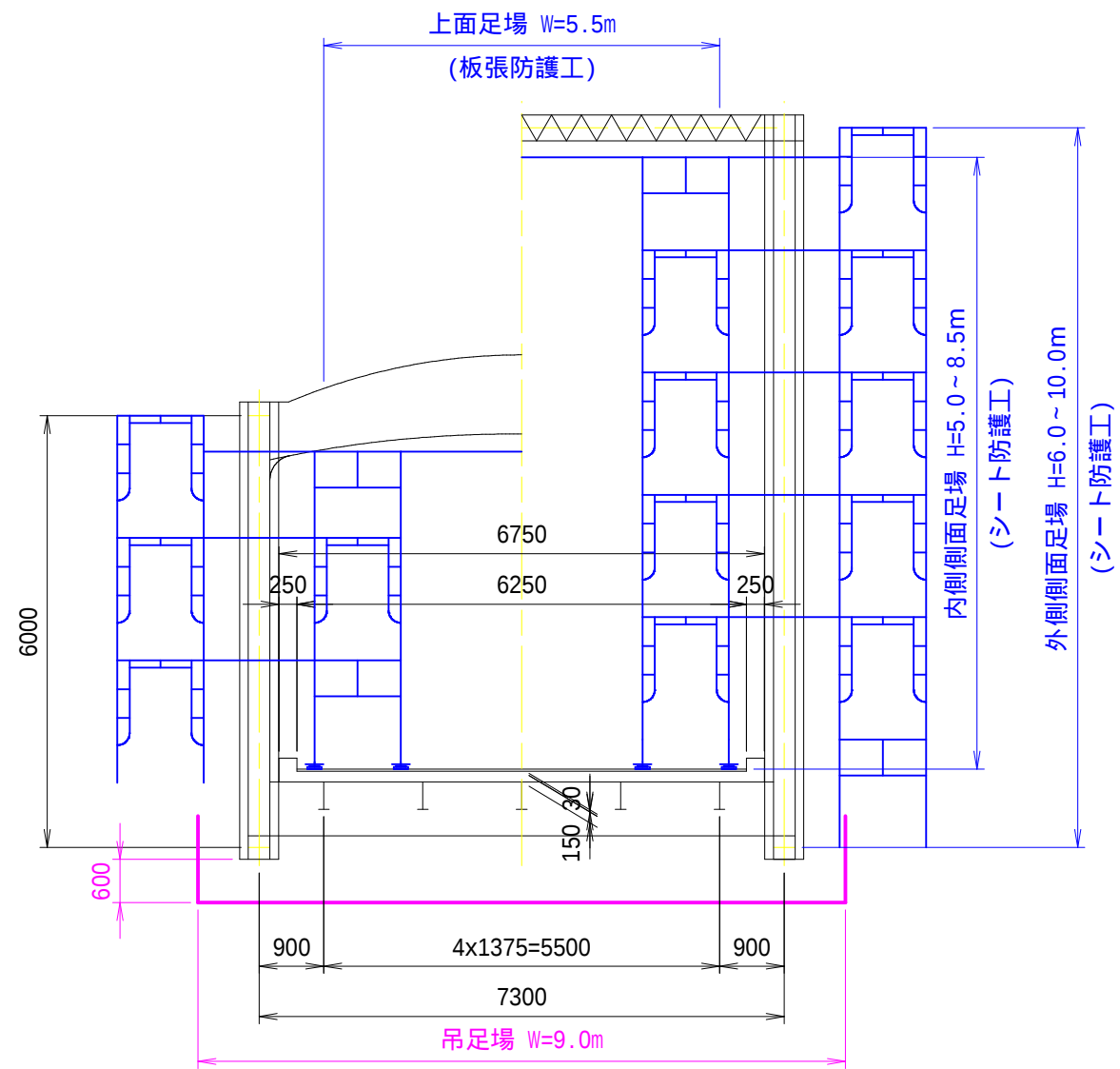
- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
 - 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。
 - 施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
 - 当て板補強部は素地調整後、鉄バテにより表面を整正すること。
 - 寸法は代表例を示す。
- 他の部材については代表例を参照して算出している。

日野橋（車尾日野橋側完線）	
図面番号	第 14 枚内 13 号
図面名称	市道車尾日野橋側完線日野橋 橋りょう補修工事（その1） 補修要領図(その7)
縮 尺	図示（A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示）
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	

足場計画図（案）



断面図 S=1:100



注記

- 補修図は竣工図のヤード・ポンド法単位をSI単位に換算している。現地寸法と異なる可能性があるため、現地確認を行い整合性を確認すること。
- 補修対象箇所・内容は令和3年度点検結果を基にした想定であり、一部以外の詳細調査は実施していない。施工前に損傷状況・形状寸法調査を行ない、監督職員と協議の上、補修要領図を元に補修内容を選択し補修寸法等を設定すること。
- 本橋の塗膜はPCB、鉛を含有している。法令等に準じた足場・塗膜の飛散防止対策を行い、飛散に十分注意すること。
- 現地寸法を確認の上、補修内容・塗装塗替え工法に合わせた足場を計画すること。
- 通行止め期間は最小となるように足場を設置すること。
- 足場の下端は想定H.W.L.+余裕高（1.5m）以上を確保すること。

日野橋（単線日野橋既設線）	
図面番号	第 14 枚内 14 号
図面名称	市道単線日野橋既設線日野橋 橋りょう補修工事（その1） 足場計画図
縮 尺	図示（A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示）
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市都市整備部道路整備課	